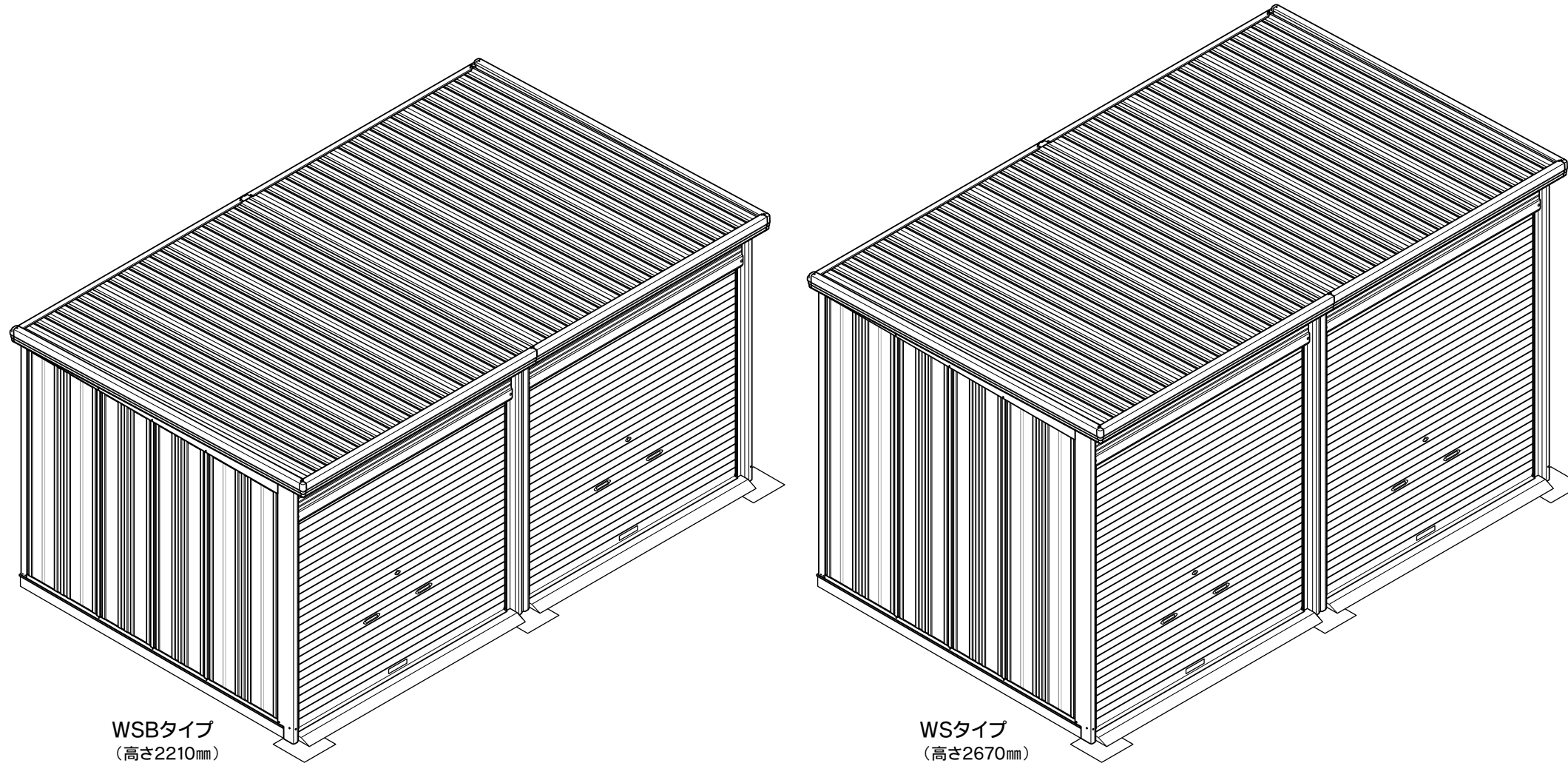


品名	完成図
WSB-2226L WSB-2229L WSB-2526L WSB-2529L WSB-2926L WSB-2929L WS-1819L WS-1822L WS-1826L WS-1829L WS-2219L WS-2222L WS-2226L WS-2229L WS-2519L WS-2522L WS-2526L WS-2529L WS-2919L WS-2922L WS-2926L WS-2929L	 <p data-bbox="603 1265 768 1333">WSBタイプ (高さ2210mm)</p> <p data-bbox="1701 1265 1865 1333">WSタイプ (高さ2670mm)</p> <p data-bbox="1852 1352 2634 1391">この組立説明書は WS-2226L型 2連棟 を例に説明しています。</p>

目次	
[1]. 組立前に必ずお読みください.....	2
[2]. 各部のサイズ.....	3
[3]. 部品一覧表.....	4
[4]. 基礎図.....	6
[5]. 組立手順.....	7

安全に組み立てていただくために...

- ・ お買上げありがとうございました。
- ・ この説明書をよくお読みの上、組み立ててください。
- ・ 特に [1]. 組立前に必ずお読みください をよくご覧ください。
- ・ 施工業者様へ：組立完成后、この説明書は必ずお客様にお渡しください。
- ・ 強風時などに備え、転倒防止 (アンカー工事) には十分なお配慮をお願いします。
特に安全が確認できない屋上等、高所への設置はお避けください。
- ・ 鍵はシャッターの裏に貼り付けてあります。

[1] 組立前に必ずお読みください



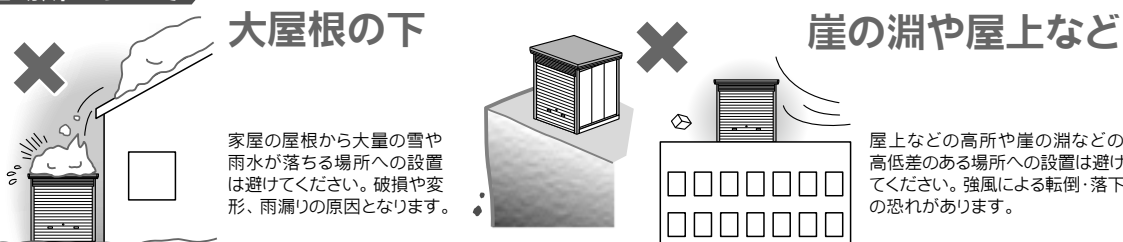
- ここに記載してある内容は、タクボ物置を安全にご使用いただく上で、重要なことを述べています。必ずお読みになり、正しくお使いいただくようお願い申し上げます。
- ここに記載してある内容をお守りにならなかった場合、お客様がケガをするなどの重大な人的損害を負う危険、また、商品の破損などの物的損害が発生する可能性があります。

製品の仕様について

- 設置現場で部材を組み立てる製品の特性上、多少の隙間(光が漏れる程度)が生じます。
- 製品の構造上、完全な防水仕様ではありません。部材の隙間などから水が入る可能性があります。
- 上記2点の問題により、ほこりや虫、ネズミ等の小動物が入り込んだり、粉雪が吹き込む場合がありますのでご注意ください。
- 運搬等により塗装面に傷が付くことがあります。軽微な傷は補修塗料による対応となります。

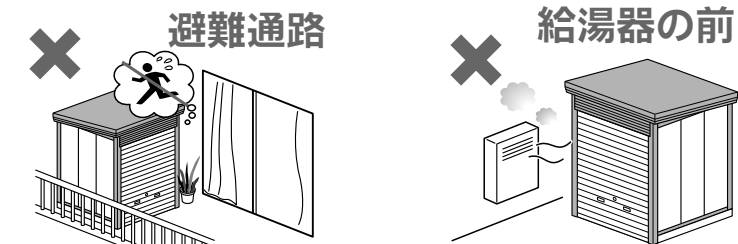
設置場所について

設置してはいけない場所



家屋の屋根から大量の雪や雨水が落ちる場所への設置は避けてください。破損や変形、雨漏りの原因となります。

屋上などの高所や崖の淵などの高低差のある場所への設置は避けてください。強風による転倒・落下の恐れがあります。



マンションのベランダなど、避難通路を塞ぐような設置や手すり乗り越えによる子供の転落や物の落下の恐れがある場所への設置はしないでください。

強い腐食性ガスが当たる給湯器排気口付近への設置は避けてください。排気ガスが塗装を劣化させ、サビ・変色の原因となります。

設置に注意が必要な場所



・木のすぐ下付近は落ち葉等で雨樋が詰まり、雨漏りや腐食の原因となります。
・芝生の上や整地・転圧がされていない場所は後日たてつけが悪くなる可能性があります。
・隣地境界線付近(雨水の排水・跳ね返り、落雪、日照の妨げ等)に対する近隣への配慮が必要です。

・薬品・融雪剤等の影響を受ける場所では、物置本体の変色や腐食の原因となる場合があります。

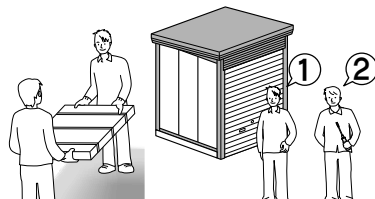
・塩害を受ける場所(海沿いの地域等)は、物置本体の腐食の原因となる場合があります。定期的な水洗いを推奨します。
・建物に隣接する時は、屋根の出幅・組立施工に必要な所定のスペースを確保してください。

組立施工上のご注意

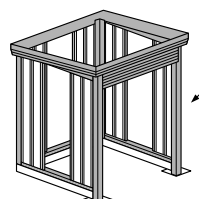
この組立説明書および保証書を、よくお読みください。また、組立完了後は組立説明書と保証書を、お客様が大切に保管してください。



手袋・長袖シャツ・作業服などの保護具を着用して組立作業を行ってください。万全を期していますが、部材の角や端部でケガをする恐れがあります。

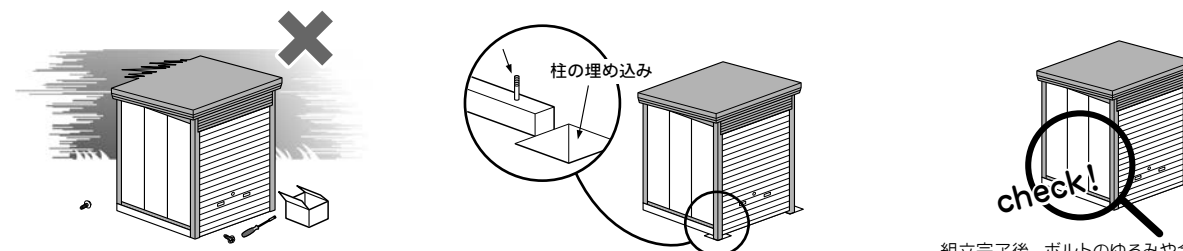


お客様が組み立てる場合や重量物(特に30kg以上)の運搬は、必ず2人以上で行ってください。ケガをしたり、腰を痛める恐れがあります。



コーナー部にパネルをつけることで強度を高めましょう。

組立作業を中断し放置すると、部材が強風で飛散・転倒する恐れがあります。やむをえずその場を離れるときは、支柱やロープなどで部材を固定してください。



風の強い日は、施工を避けてください。部材が転倒して破損したり、飛ばされた部品でケガをする恐れもあります。

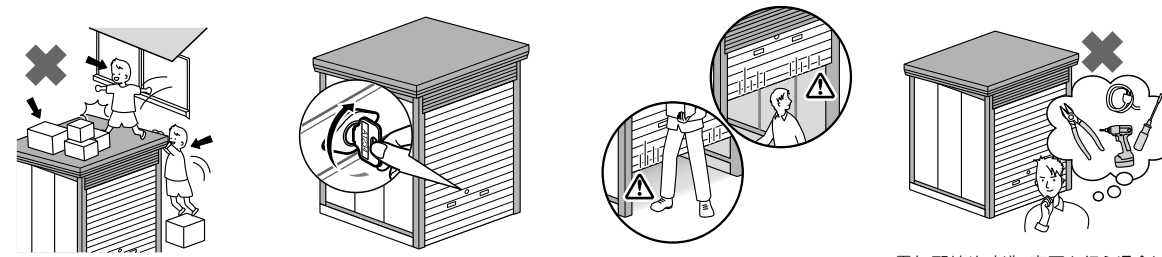
転倒防止のために、所定の基礎工事を必ず行ってください。台風などの強風時に転倒し、重大なケガや収納物に損害を与える恐れがあります。

組立完了後、ボルトのゆるみや金具類の付け忘れがないか、確認してください。正しく組み立てられていないと、所定の強度が確保できなくなります。

基礎について

- 安全のため、基礎は当社の規定した仕様をお守りください。また、基礎穴は本書の基礎図で示した寸法以上にしてください。
- 軟弱地盤や寒冷地で凍上の恐れがある地域に設置する場合には、現地の実情に合わせて基礎の施工方法をご検討ください。

使用上のご注意

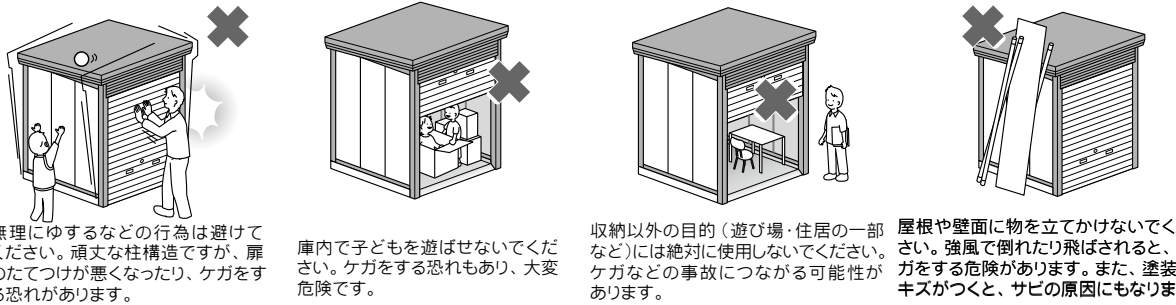


屋根の上に物をのせる・人がのる・ぶら下がる・他の建物から飛び乗るなどの行為はしないでください。転倒・落下などにより、ケガをしたり破損する恐れがあります。

台風などの強風時は、シャッターが開いたり外れたりする可能性がありますので必ず施錠してください。収納物が飛ばされたり、破損・転倒する恐れがあります。

シャッターの開閉時は、手や足を挟まないように注意して、ゆっくりと操作してください。ケガをする恐れがあり、また開閉スピードが速いと、破損の原因にもなります。

電気配線や改造・変更を行う場合は、必ず専門の業者にご相談ください。みだりな改造は、強度などの問題でケガや破損の原因になります。

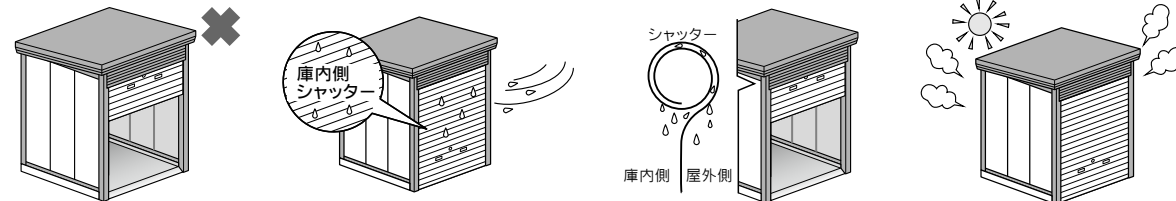


無理にゆするなどの行為は避けてください。頑丈な柱構造ですが、扉のたてつけが悪くなったり、ケガをする恐れがあります。

庫内で子どもを遊ばせないでください。ケガをする恐れもあり、大変危険です。

収納以外の目的(遊び場・住居の一部など)には絶対に使用しないでください。ケガなどの事故につながる可能性があります。

屋根や壁面に物を立てかけないでください。強風で倒れたり飛ばされると、ケガをする危険があります。また、塗装にキズがつくと、サビの原因にもなります。



シャッターの内側に水が入ってくる場合がありますので、濡れて困るものをシャッターの近くに置かないでください。

シャッターの屋外側に横向き風雨があたった場合、シャッターの庫内側に水が伝わり、濡れることがあります。

シャッターが雨などに濡れているときに開閉すると、シャッターの屋外側と庫内側が重なるため、庫内側に水滴がつくことがあります。

直射日光により物置が熱くなる場合があります。やけどに注意してください。

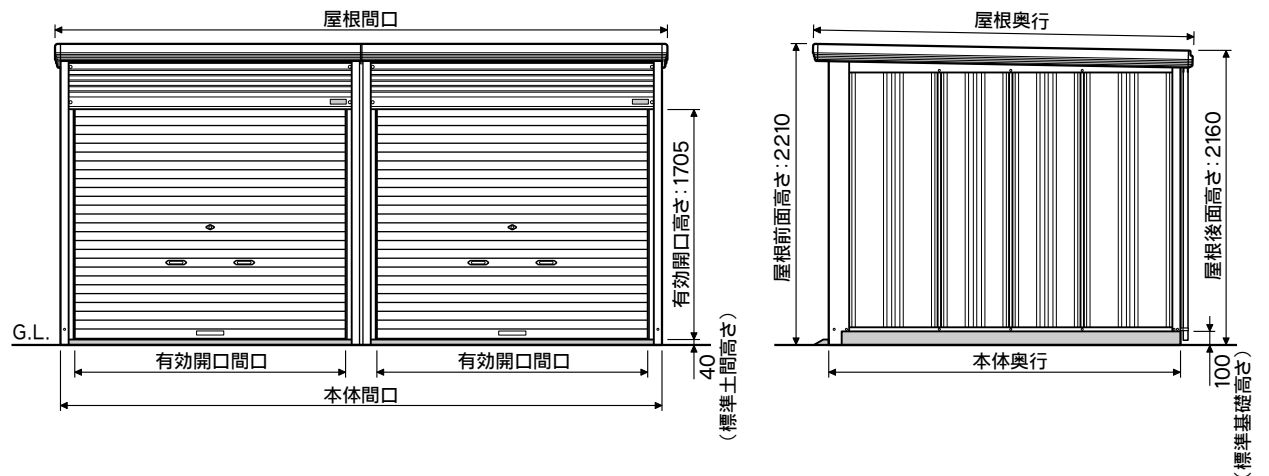
天気予報などで災害が予想される場合

台風等の暴風雨や豪雪などにより、商品の機能を越える事態が発生すると扉や本体が飛ばされるような事態になったり、庫内に雨水や雪が侵入することがあります。災害が予想される場合には、本施設の上、ロープ・ワイヤでしばって補強するか、事前に収納物を移動させるなどの対策をお願いします。

[2] 各部のサイズ (2連棟の例です。単位は mm)

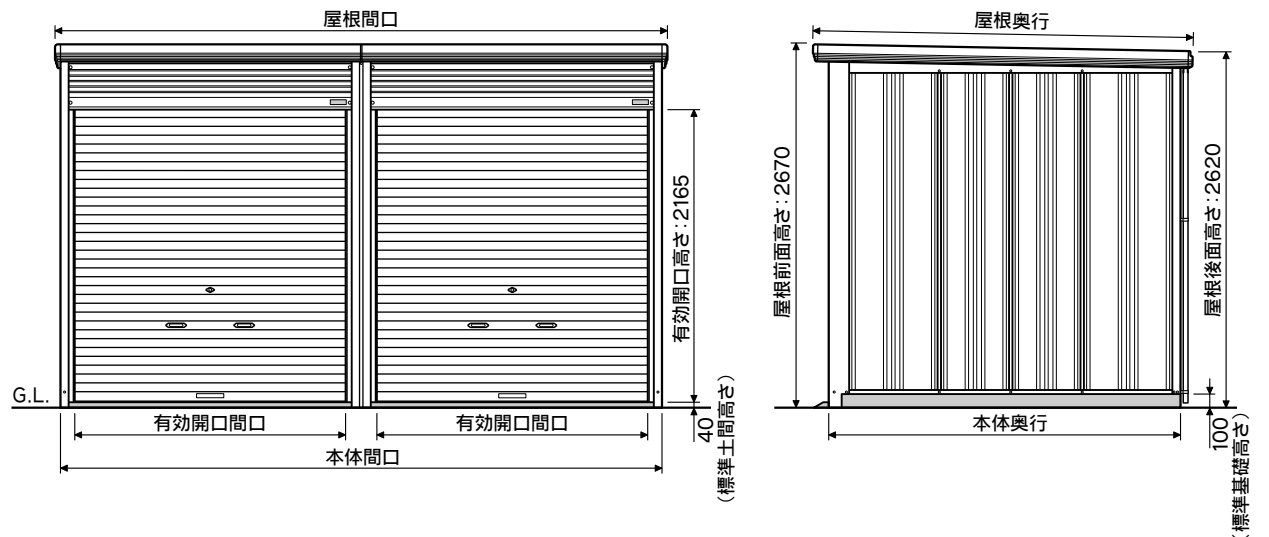
WSBタイプ

機種ごとの寸法は、下の表をご参照ください。高さは全機種共通です。図は標準基礎高さ100mm・標準土間高さ40mmでの寸法です。



WSタイプ

機種ごとの寸法は、下の表をご参照ください。高さは全機種共通です。図は標準基礎高さ100mm・標準土間高さ40mmでの寸法です。



■ 2連棟のサイズです。(単位は mm)

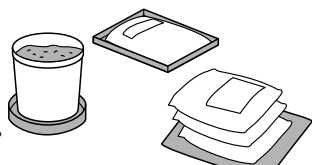
機種	本体間口	有効開口間口	本体奥行	屋根間口	屋根奥行
WSB-2226	4415	1986	2622	4495	2827
WSB-2229	4415	1986	2990	4495	3195
WSB-2526	5079	2318	2622	5159	2827
WSB-2529	5079	2318	2990	5159	3195
WSB-2926	5815	2686	2622	5895	2827
WSB-2929	5815	2686	2990	5895	3195

機種	本体間口	有効開口間口	本体奥行	屋根間口	屋根奥行
WS-1819	3679	1618	1922	3759	2127
WS-1822	3679	1618	2290	3759	2495
WS-1826	3679	1618	2622	3759	2827
WS-1829	3679	1618	2990	3759	3195
WS-2219	4415	1986	1922	4495	2127
WS-2222	4415	1986	2290	4495	2495
WS-2226	4415	1986	2622	4495	2827
WS-2229	4415	1986	2990	4495	3195
WS-2519	5079	2318	1922	5159	2127
WS-2522	5079	2318	2290	5159	2495
WS-2526	5079	2318	2622	5159	2827
WS-2529	5079	2318	2990	5159	3195
WS-2919	5815	2686	1922	5895	2127
WS-2922	5815	2686	2290	5895	2495
WS-2926	5815	2686	2622	5895	2827
WS-2929	5815	2686	2990	5895	3195

屋根の出幅 (全機種共通)	
前面へ:	115mm
後面へ:	90mm
側面へ:	片側 40mm ずつ

⚠ 収納物にご注意ください。

化学肥料や農薬、塩分が出る可能性のあるものは、サビ発生の原因となりますので、必ず受け皿や敷物をお使いください。タイヤは、よく水洗いしてから収納してください。融雪剤の塩素がサビの原因になります。



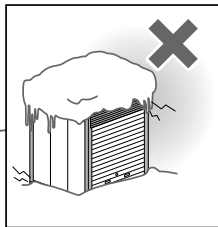
■ 収納できない物



つけもの・なまもの・装飾用人形・湿気を嫌う物 (衣服・ふとん類)・精密機器・貴重品・生き物 など

- 1) 熱や湿気を嫌う物を収納する場合は、段ボール箱やビニール袋に入れて収納してください。
- 2) 家電製品等は湿度やほこりの影響を受けやすいので十分な養生をして収納してください。
- 3) 食品など、虫や小動物の侵入で被害をこうむる恐れのある物は、収納しないでください。
- 4) 高温・多湿・結露などにより、変色・変形を生じる恐れのある物は、収納を避けてください。
- 5) 揮発性の可燃物は、収納しないでください。(ガソリン・シンナー・塗料・スプレー類 など)
- 6) 重い物の収納は、棚の耐荷重をお確かめください。

⚠ 積雪時のご注意



- 1) 雪下ろし・雪庇落としは早めに行ってください。
※ 降雪時は、安全のため下記の最大積雪基準を目安に雪下ろしをしてください。
□ 通常地用…1200N/m²(120kgf/m²)…60cm以下
□ 積雪地用…3000N/m²(300kgf/m²)…100cm以下
 - 2) 雪下ろしを行う際は、決して屋根には上がらないで作業してください。
 - 3) 物置の周囲の雪も、早めに取り除いてください。
※ 許容耐荷重を超えた積雪の場合は、人的被害や収納物の破損などの事故につながる可能性がありますので、ご注意ください。
 - 4) 雪下ろしのために水を掛けしないでください。水を含んだ雪は重くなり、本体破損の原因になります。
 - 5) 積雪量が多く、寒暖差が大きい時に、すもれ現象が生じやすくなります。早めに雪下ろしや軒樋付近の氷を取り除いてください。濡れて困るような収納物は、ビニール等で覆ってください。
- 注) 寒冷地・高地では、凍結によりたて樋が割れる場合があります。冬季にはたて樋をはずしておくことをお勧めします。

⚠ 結露への配慮

庫内と外気の温度差が大きくなると、庫内に結露が発生する自然現象が生じます。結露が発生した場合は水分を拭き取ってください。また、換気を行うなどをして外気との温度差を少なくすることで結露の発生を軽減できます。

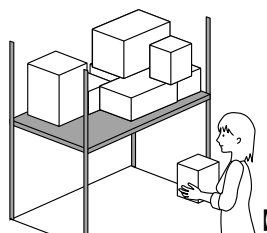
結露について

空気の温度が高い状態から低い状態に変化したときに空気の中にある水蒸気が水滴となり物体の表面に付着する現象のことです。

⚠ 棚を使用する時のご注意

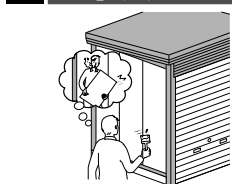
許容耐荷重をお守りください。重量オーバーは変形や破損の原因となり落下物でけがをされる恐れがあります。

- ※ 荷物は、なるべく均等に、静かにのせるよう心がけてください。脚の荷物は、脚の下に丈夫な板を置いて、収納してください。
- ※ 集中荷重・点荷重 (狭い範囲に重さが掛かる状態) はさけてください。棚のへこみや、物置が傾く原因になります。

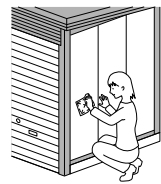


【棚の許容耐荷重】
2000N/m² (200kgf/m²)
(1平方メートルあたり200kgまで)

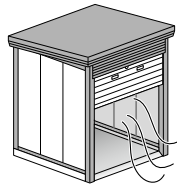
お手入れについて



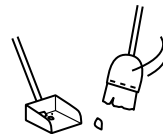
長期間ご使用になると、様々なキズができることがあります。サビの原因になりますので、キズは早めに補修しましょう。また、可動部に劣化が見られた場合は交換をお願いします。



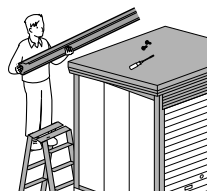
汚れたら水洗いをしてください。ワックスをかけると、より長きれいに保てます。



屋根や軒樋に、枯れ葉やゴミがたまらないよう定期的に清掃しましょう。



ときどきシャッターを開けて風を通し内部の換気を行ってください。また、物置内部に結露が発生した場合は水分を拭き取ってください。※ 結露は自然現象です。物置の設置場所・環境によっては結露が発生する場合があります。



軒樋にたまったゴミを取り除くときはP13をご参照いただき、逆の手順で軒樋を取りはずしてください。

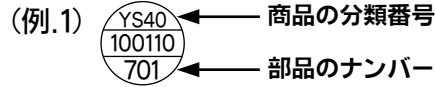
⚠ 屋根の上にはのらないでください。ケガをする可能性があります。

※ 修理依頼等のお問い合わせは、当社営業所または販売店へお願いします。(当社は「有償契約メンテナンス」を設定しておりません)

[3] 部品一覧表

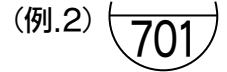
■各部品にはシールが貼ってあります。

(例.1)の701は、組立手順の最初に出てくる「水切り左」です。



■シールの下半分のナンバーで、部品を確認してください。

本組立説明書の中では、(例.2)のようなマークで部品を表しています。



本体組立部品

Table of main assembly parts including water cutoff parts (水切り), roof parts (母屋), and structural components. Columns represent various model types (WSB, WS) and rows represent individual part types.

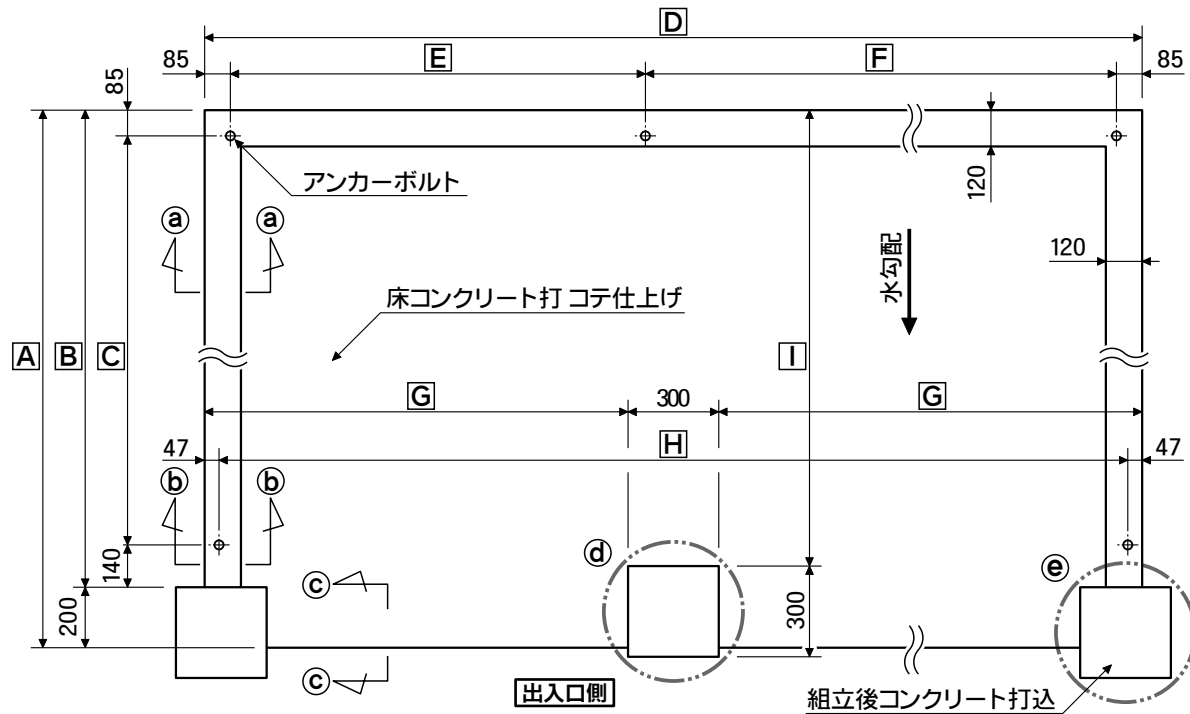
Table of secondary assembly parts including back roof (後上枠), side plates (化粧板), and structural beams. Columns represent various model types (WSB, WS) and rows represent individual part types.

[4] 基礎図 (布基礎施工図 WSB型・WS型 共通)

- ※基礎は別途施工となります。下図は2連棟の場合を示しています。
- ※土間打ち作業は、組み立てが終わってから行ってください。
- ※この基礎図は標準を示しています。現場の実情に合わせて、ご設計ください。

基礎伏せ図 (単位は mm)

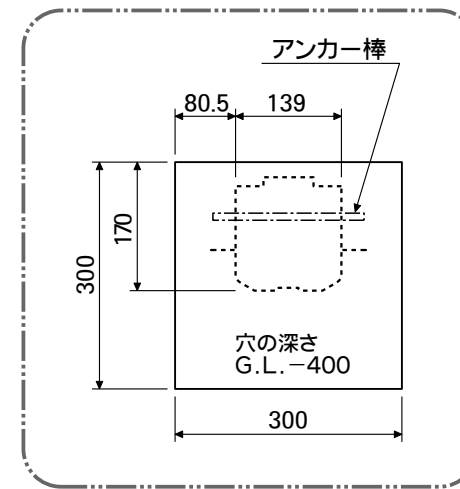
● **A**~**I**の寸法は、左下の表をご参照ください。
それ以外の寸法は、全機種共通です。



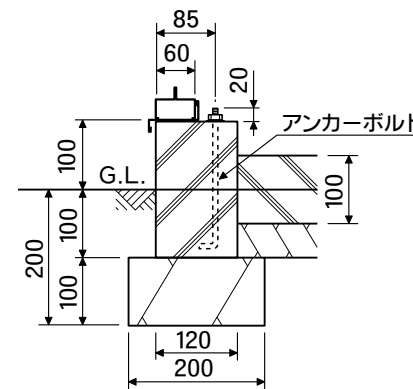
(単位は mm)

機種	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1819型 2連棟	2022	1822	1597	3679	1662	1847	1689.5	3585	1752
1822型 2連棟	2390	2190	1965	3679	1662	1847	1689.5	3585	2120
1826型 2連棟	2722	2522	2297	3679	1662	1847	1689.5	3585	2452
1829型 2連棟	3090	2890	2665	3679	1662	1847	1689.5	3585	2820
2219型 2連棟	2022	1822	1597	4415	2030	2215	2057.5	4321	1752
2222型 2連棟	2390	2190	1965	4415	2030	2215	2057.5	4321	2120
2226型 2連棟	2722	2522	2297	4415	2030	2215	2057.5	4321	2452
2229型 2連棟	3090	2890	2665	4415	2030	2215	2057.5	4321	2820
2519型 2連棟	2022	1822	1597	5079	2362	2547	2389.5	4985	1752
2522型 2連棟	2390	2190	1965	5079	2362	2547	2389.5	4985	2120
2526型 2連棟	2722	2522	2297	5079	2362	2547	2389.5	4985	2452
2529型 2連棟	3090	2890	2665	5079	2362	2547	2389.5	4985	2820
2919型 2連棟	2022	1822	1597	5815	2730	2915	2757.5	5721	1752
2922型 2連棟	2390	2190	1965	5815	2730	2915	2757.5	5721	2120
2926型 2連棟	2722	2522	2297	5815	2730	2915	2757.5	5721	2452
2929型 2連棟	3090	2890	2665	5815	2730	2915	2757.5	5721	2820

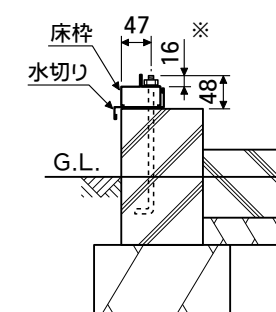
④ 詳細図



a-a 断面図

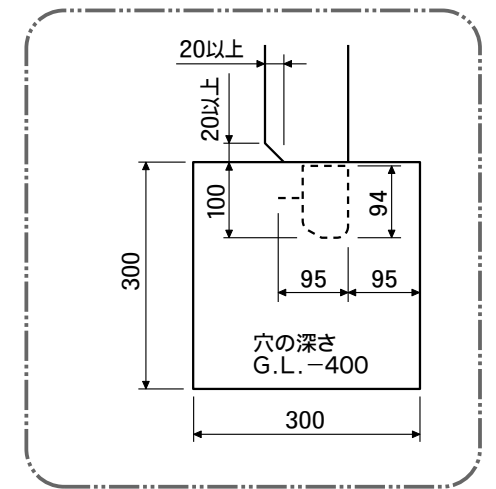


b-b 断面図

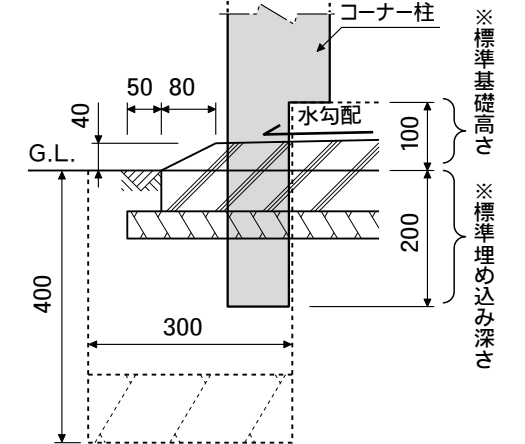


※床枠の水切り部より、アンカーボルトの頭が高くならないようご注意ください。

⑤ 詳細図



c-c 断面図



※コーナー柱の埋め込み深さを変えることにより、本体の高さを200mm調整できます。(下図参照)

屋根前面の高さ

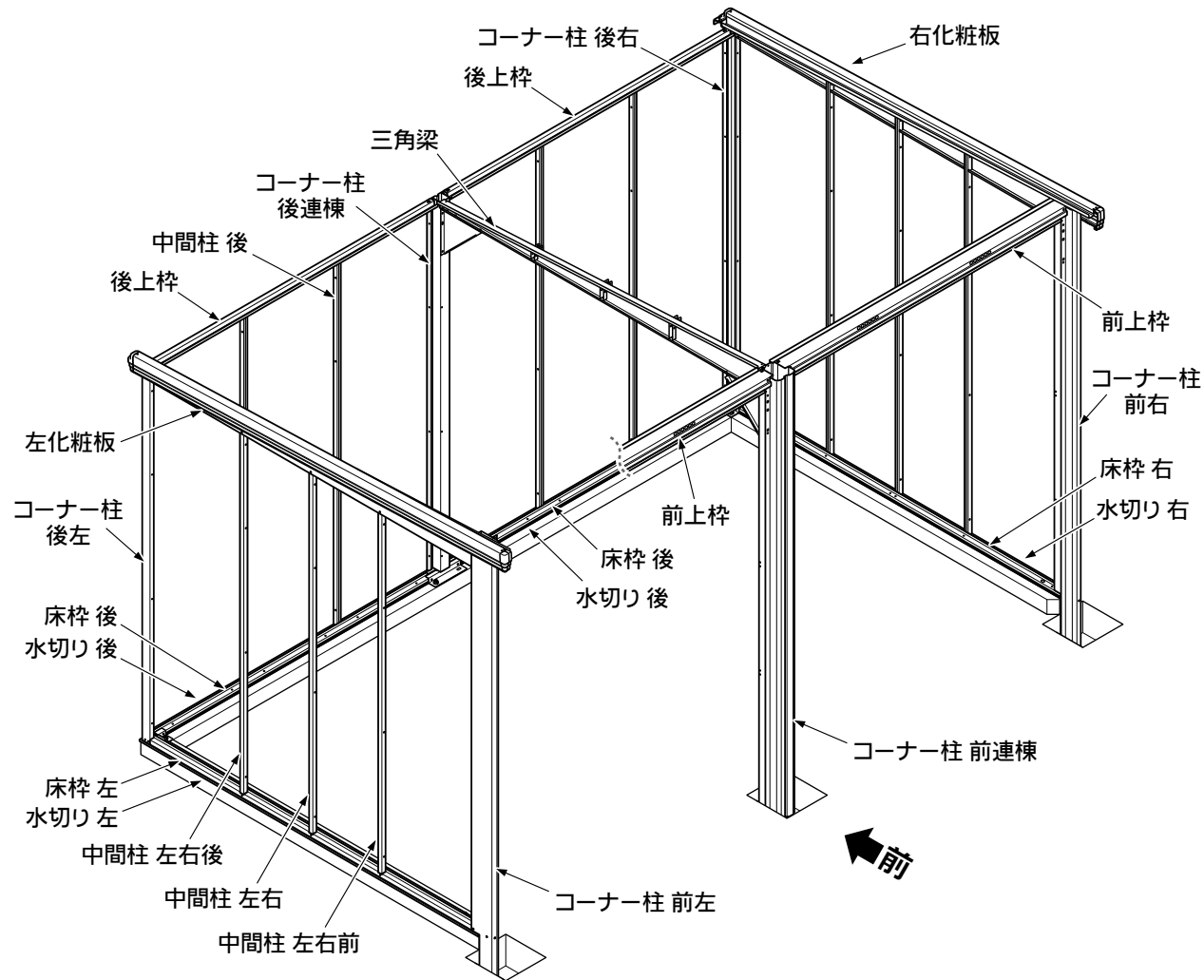
機種	2110	2210	2310
WSB型	2110	2210	2310
WS型	2570	2670	2770
	最低 ←	標準	→ 最高
基礎高さ	0	100	200
埋め込み深さ	300	200	100

[5] 組立手順



必ず水平器で水平を出してから、組立にかかってください。
水平が出ていないと、完成した後シャッターがスムーズに開閉しません。

1 骨組みの組立



使用部品

701	水切り左	1
702	水切り右	1
703	水切り後	2
704	水切り連棟	1
602	床枠左	1
603	床枠右	1
04	床枠後	2
06	コーナー柱 前左	1
07	コーナー柱 前右	1
107	コーナー柱 前連棟	1

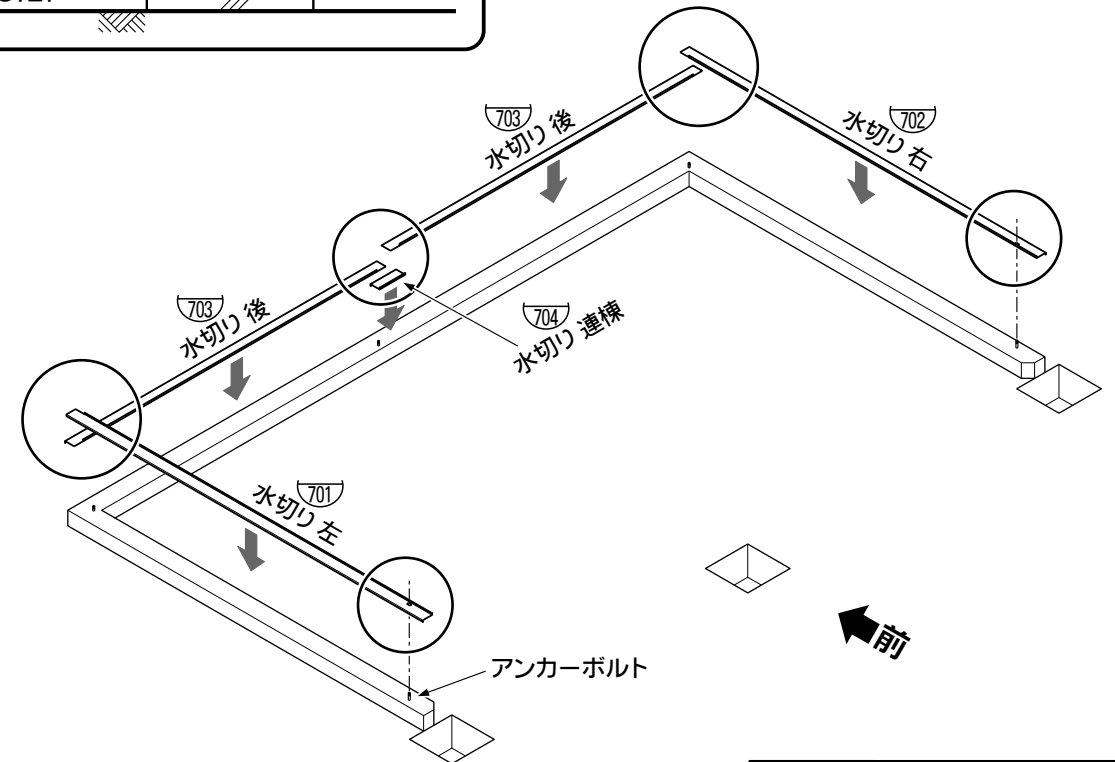
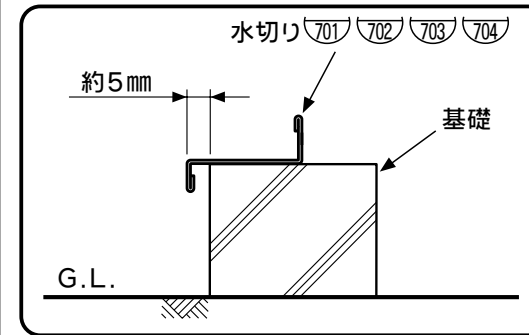
08	コーナー柱 後左	1
09	コーナー柱 後右	1
109	コーナー柱 後連棟	1
118	三角梁	1
168	三角梁補強	1
1829·2229·2526		1
2529·2926·2929		
11	中間柱 左右	2
1826·1829·2226		
2229·2526·2529		
2926·2929		

12	中間柱 左右前	2
13	中間柱 左右後	2
14	中間柱 後	4
1819·1822·1826·1829		
2219·2222·2226·2229		
2519·2522·2526·2529	6	
2919·2922·2926·2929		
15	後上枠	2
319	前上枠	2
17	左化粧板	1
18	右化粧板	1

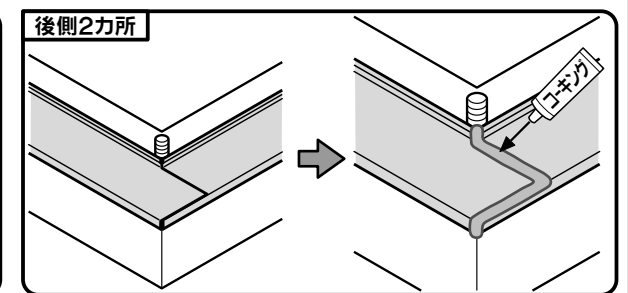
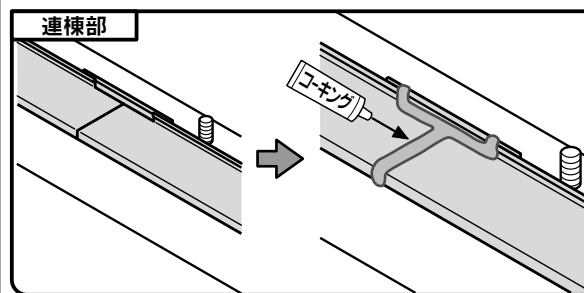
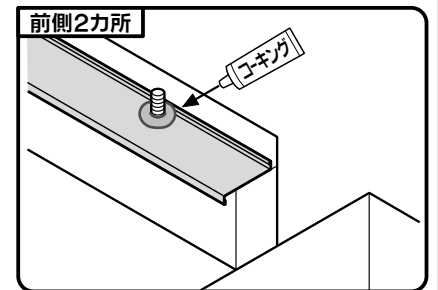
1-1: 水切りの配置

内部に雨水が浸入するのを防ぐために、基礎の上に水切りをセットします。

(704 水切り 連棟 は、部品箱に入っています。)

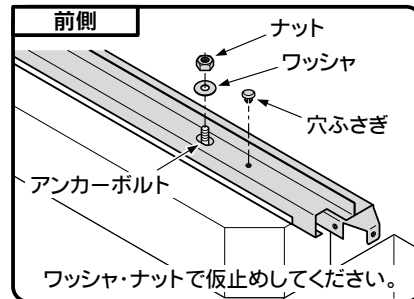
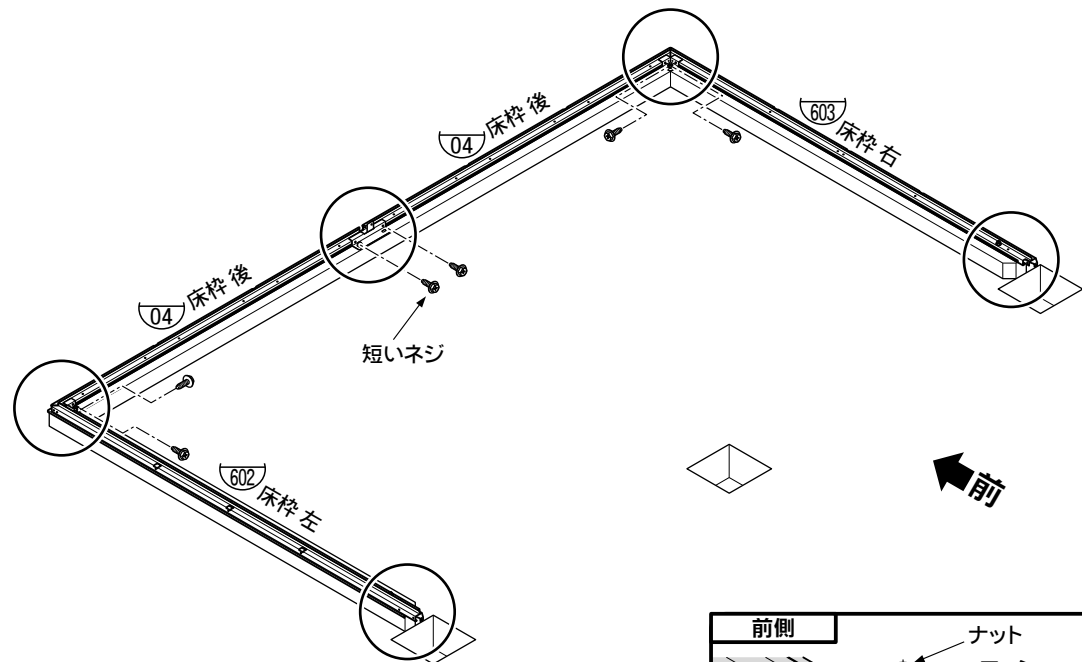


前側のアンカーボルト部（前側2カ所）と水切りの重ね位置（後コーナー部2カ所と連棟部）を、図の要領で確実にコーキングしてください。

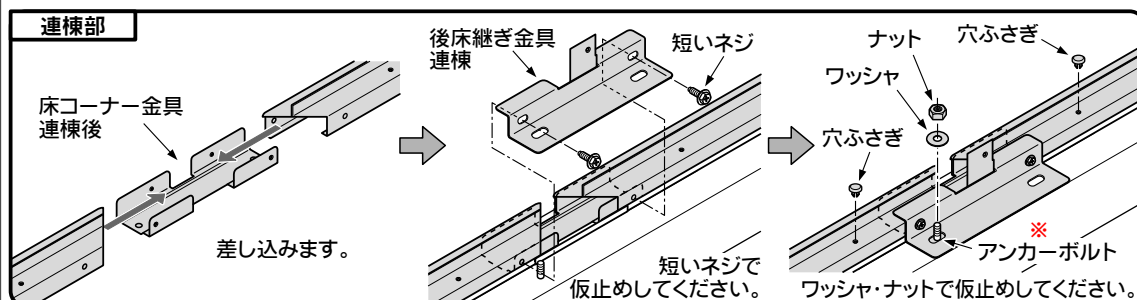
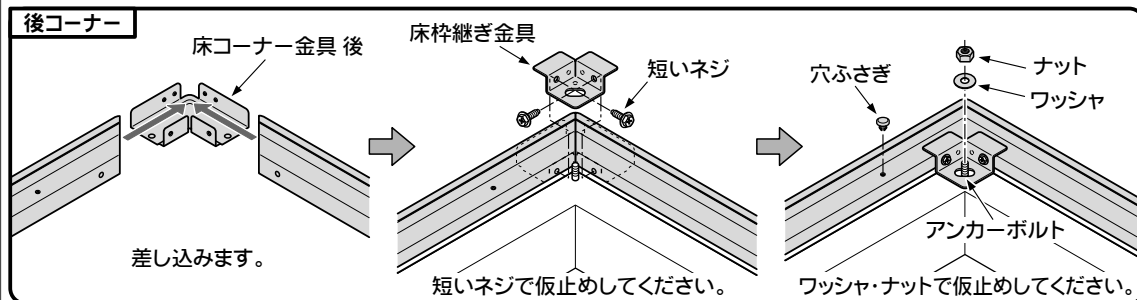


小部品 コーキング

①-2: 床枠の組立



- 床枠を連結し、アンカーボルトに仮止めしてください。
- ここでは、すべてのネジ・ナットを仮止めしておきます。
- 床枠の上面のネジ穴を、すべて穴ふさぎでふさいでください。



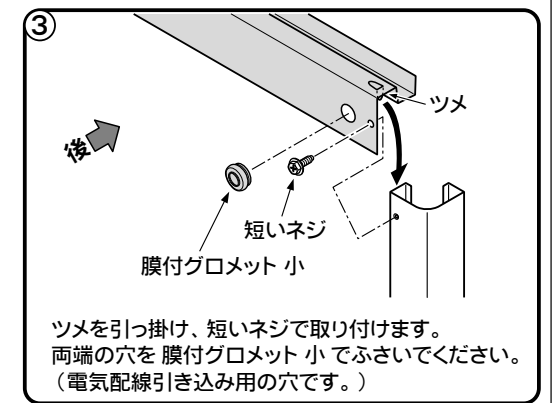
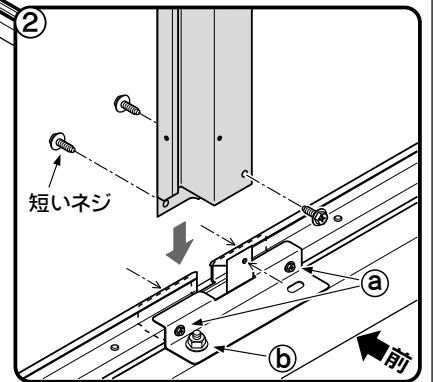
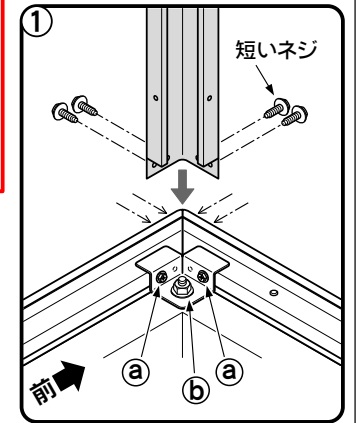
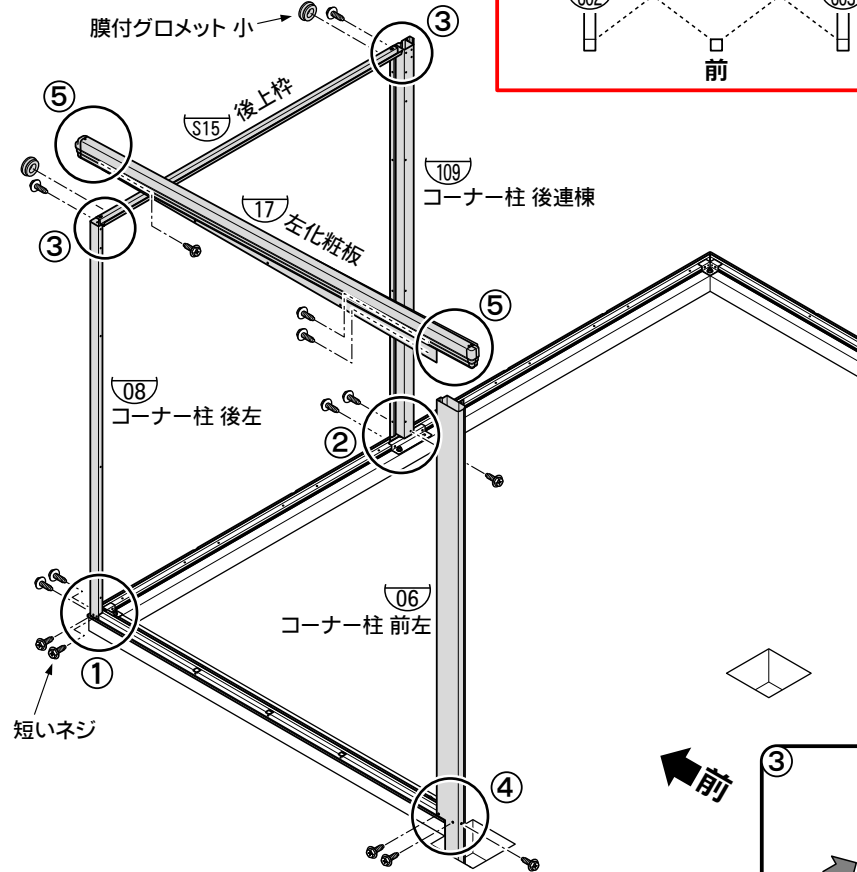
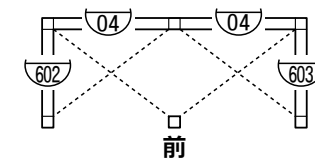
※ 後床継ぎ金具連棟は、左側の穴のみアンカーボルトに止め付けます。右側の穴は使用しません。

穴ふさぎ	ネジ・小部品
1819・1822・2219・2222	18
1826・1829・2226・2229	22
2519・2522・2919・2922	26
2526・2529・2926・2929	30

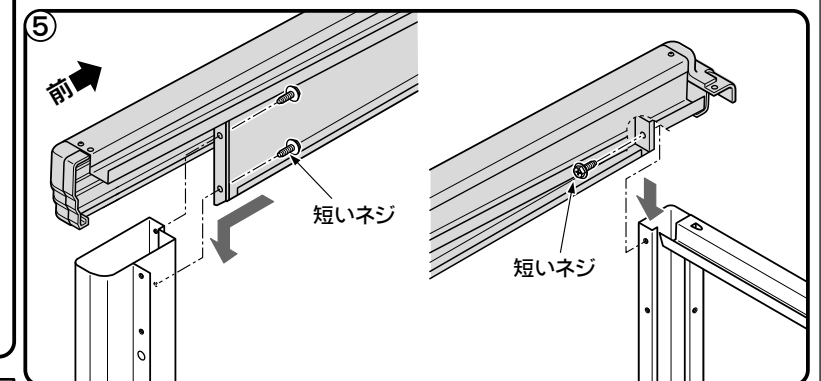
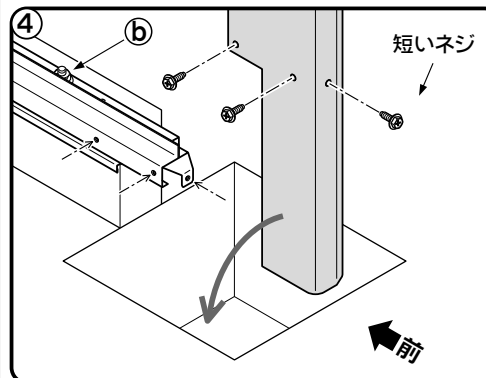
①-3: コーナー柱・後上枠・左化粧板の組立

チェック!!

床枠の直角を確認してください。対角線(下図の点線)の長さが同じになれば、直角が出ます。



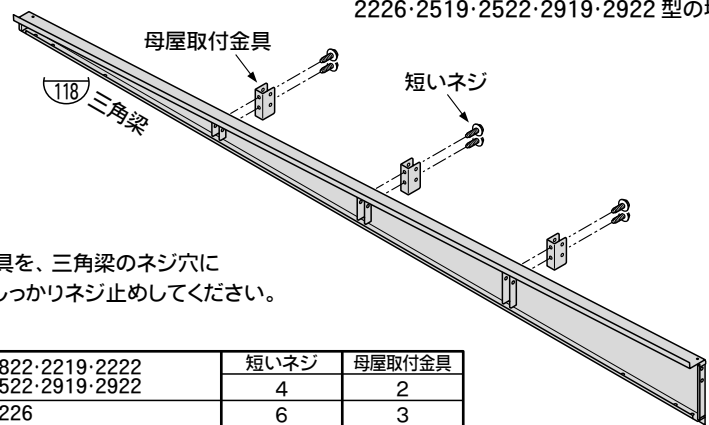
- 向かって左側から①～⑤の順で組み立てていきます。
- コーナー柱をネジ止めするときに、①-2で仮止めしていたネジを、きつく締め直してください。(コーナー柱のネジ止め→a→bの順です。)



ネジ・小部品	短いネジ	膜付グロメット小
短いネジ	15	2

①-4：三角梁の組立

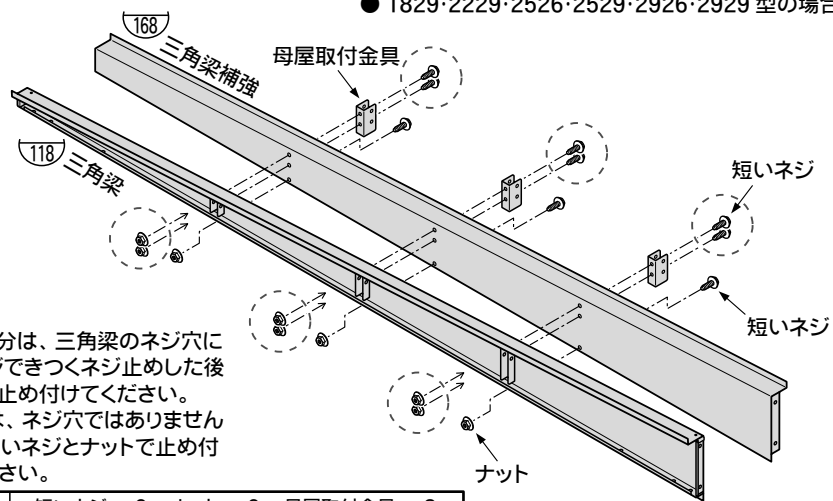
● 1819・1822・1826・2219・2222
2226・2519・2522・2919・2922 型の場合



母屋取付金具を、三角梁のネジ穴に
短いネジでしっかりネジ止めしてください。

ネジ・ 小部品	1819・1822・2219・2222 2519・2522・2919・2922	短いネジ	母屋取付金具
		4	2
	1826・2226	6	3

● 1829・2229・2526・2529・2926・2929 型の場合



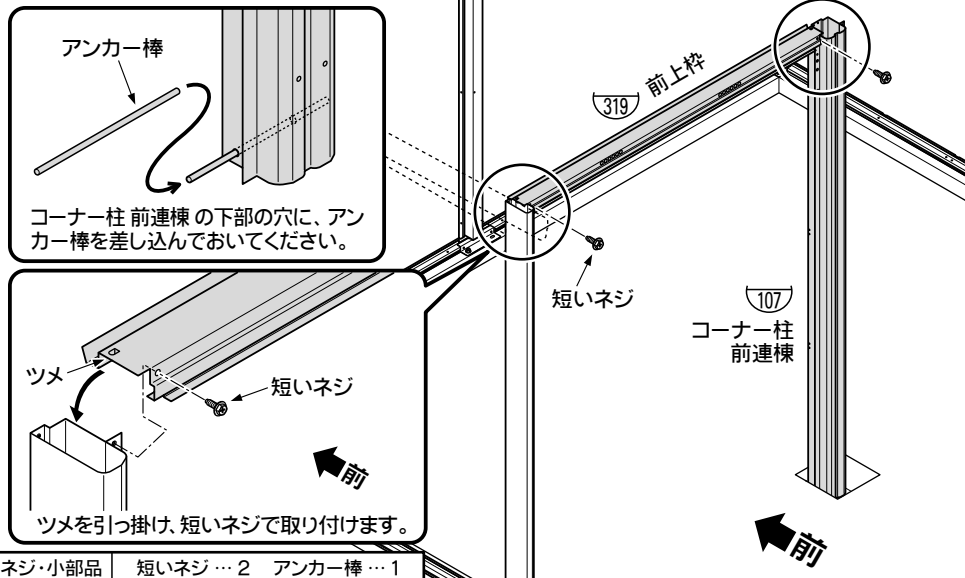
○の部分、三角梁のネジ穴に
短いネジできつくネジ止めた後
ナットで止め付けてください。
その下は、ネジ穴ではありません
ので、短いネジとナットで止め付
けてください。

ネジ・小部品	短いネジ…9	ナット…9	母屋取付金具…3
--------	--------	-------	----------

①-5：コーナー柱 前連棟・前上枠の組立



必ず2人以上で作業を行い、三角梁を取り付けるまでは
1人がコーナー柱 前連棟を支えておいてください。



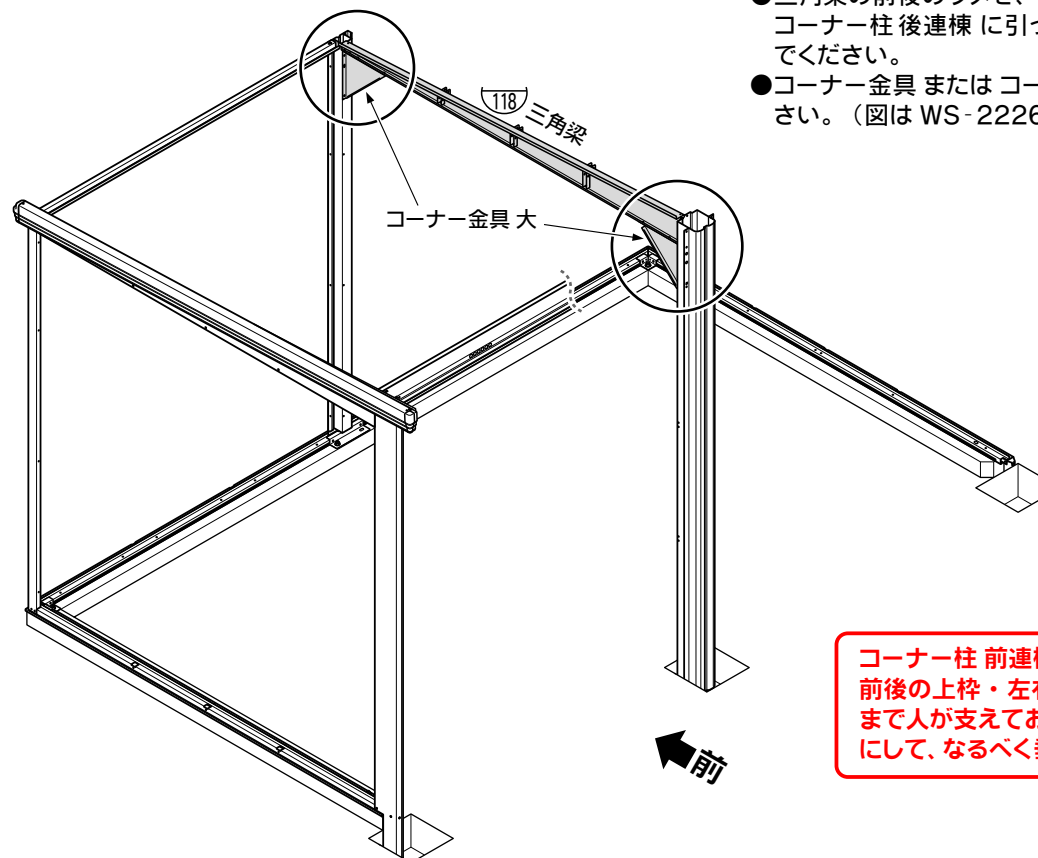
アンカー棒
コーナー柱 前連棟の下部の穴に、アン
カー棒を差し込んでおいてください。

ツメを引っ掛け、短いネジで取り付けます。

ネジ・小部品	短いネジ…2	アンカー棒…1
--------	--------	---------

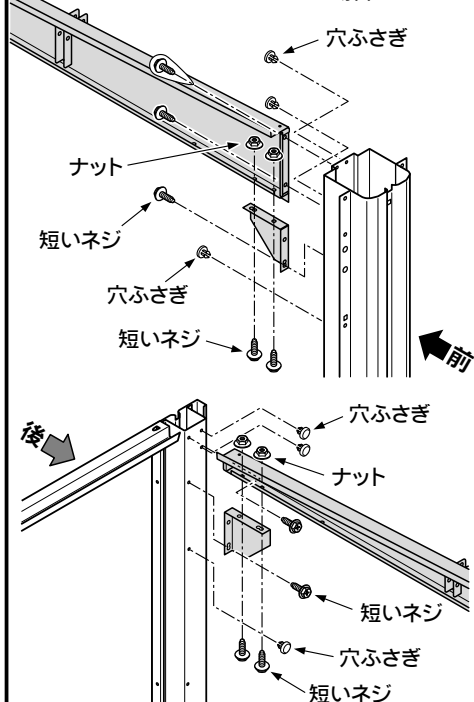
①-6：三角梁の組立

- 三角梁の前後のツメを、それぞれコーナー柱前連棟とコーナー柱後連棟に引っ掛け、短いネジでネジ止めしてください。
- コーナー金具 または コーナー金具 大 を取り付けてください。(図は WS-2226型 2連棟)



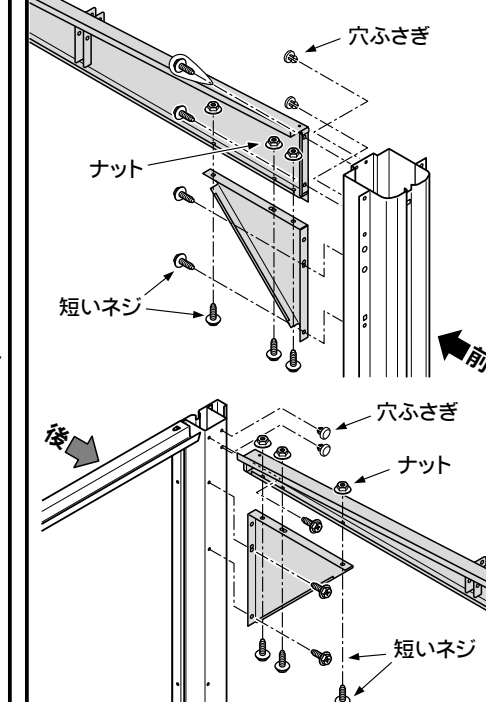
コーナー柱 前連棟 は、すべてのコーナー柱と
前後の上枠・左右の化粧板を、連結し終わる
まで人が支えておくか、脚立などで支えるよう
にして、なるべく垂直の状態に保ってください。

● 1819・1822・2219・2222・2519
2522・2919・2922 型の場合



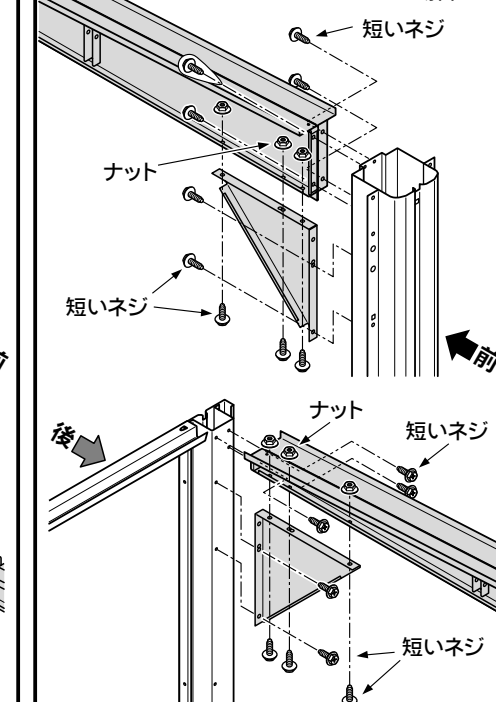
ネジ・ 小部品	短いネジ	9	穴ふさぎ	6
	ナット	4	コーナー金具	2

● 1826・2226 型の場合



ネジ・ 小部品	短いネジ	13	穴ふさぎ	4
	ナット	6	コーナー金具大	2

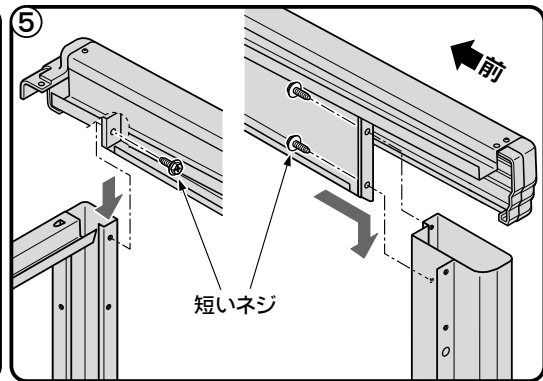
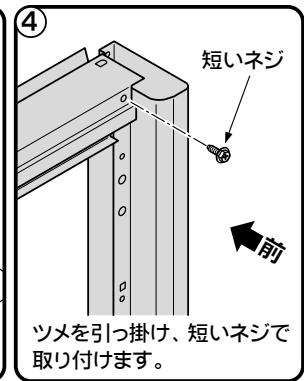
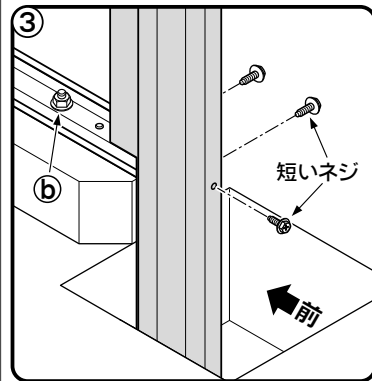
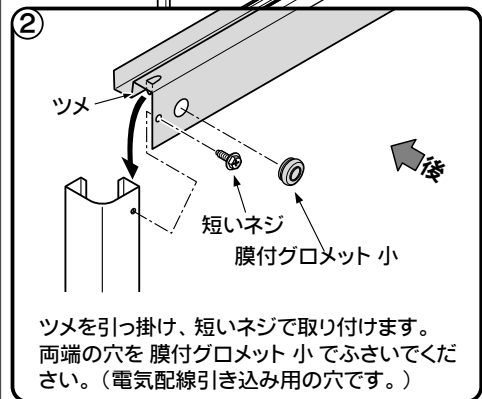
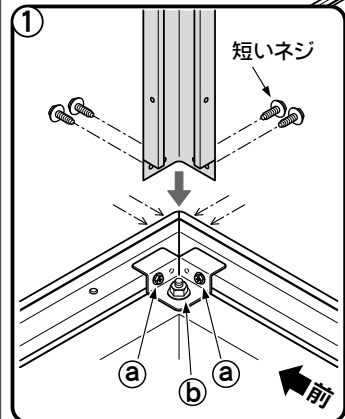
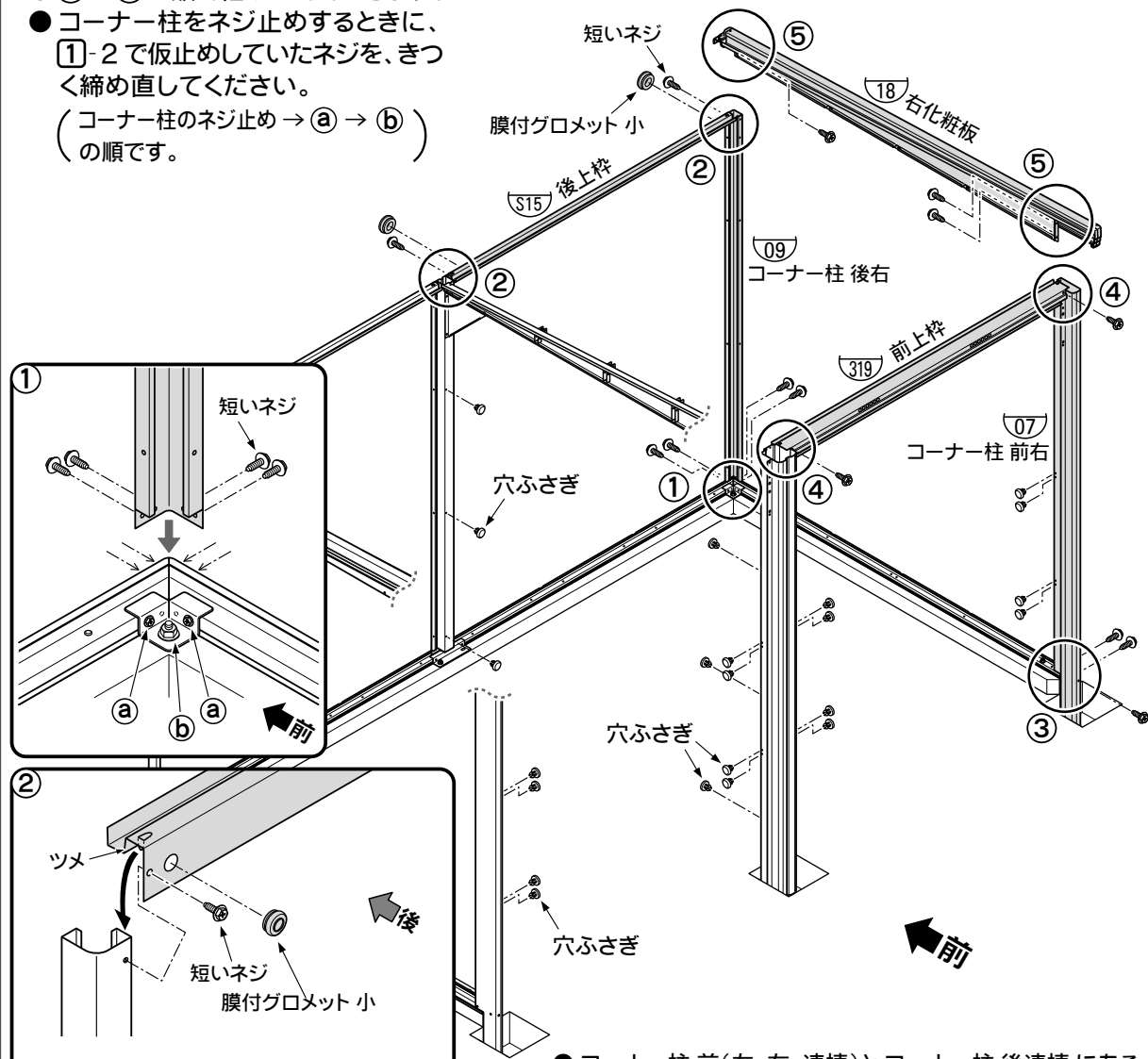
● 1829・2229・2526・2529
2926・2929 型の場合



ネジ・ 小部品	短いネジ	17	コーナー金具大	2
	ナット	6		

①-7: コーナー柱・後上枠・前上枠・右化粧板の組立

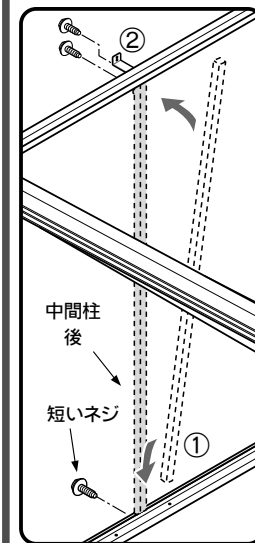
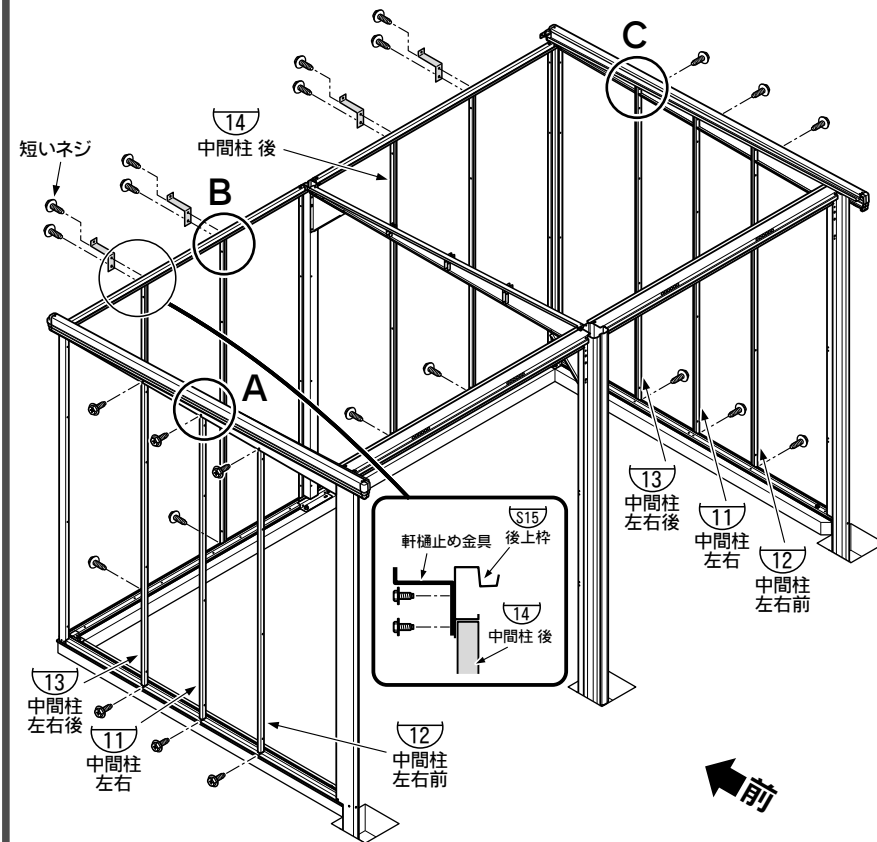
- ①～⑤の順で組み立てていきます。
- コーナー柱をネジ止めするとき、①-2で仮止めしていたネジを、きつく締め直してください。
(コーナー柱のネジ止め → ① → ②)の順です。



● コーナー柱前(左・右・連棟)とコーナー柱後連棟にあるオプション取付用の穴を、穴ふさぎでふさいでください。

ネジ・小部品	短いネジ	14	穴ふさぎ	WSB型	20	WS型	22
	膜付グロメット小	2					

①-8: 中間柱の組立



庫内側から、①床枠の角穴に差し込み、②上部を仮止めし、下部も仮止めします。
中間柱後の中央に軒樋止め金具を取り付けてください。

A 詳細

① 中間柱 左右
② 中間柱 左右前
③ 中間柱 左右後

B 詳細

④ 中間柱 後

C 詳細

① 中間柱 左右
② 中間柱 左右前
③ 中間柱 左右後

中間柱 左右の配置

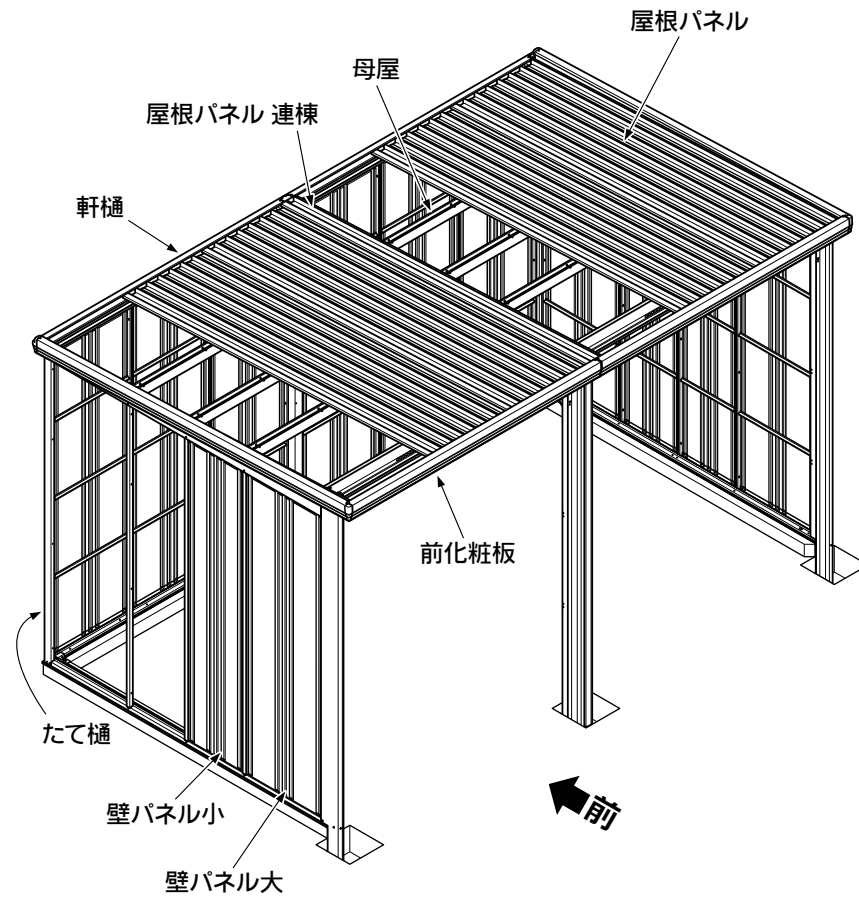
1819・1822・2219・2222 2519・2522・2919・2922	1826・1829・2226・2229 2526・2529・2926・2929
⑬ 中間柱 左右後 ⑫ 中間柱 左右前	⑬ 中間柱 左右後 ⑪ 中間柱 左右 ⑫ 中間柱 左右前

⑭ 中間柱 後の本数

1819・1822・1826・1829 2219・2222・2226・2229	2519・2522・2526・2529 2919・2922・2926・2929
2本×2棟	3本×2棟

ネジ・小部品	短いネジ		軒樋止め金具	
	1819・1822・2219・2222 2519・2522・2919・2922	20 26	1819・1822・1826・1829 2219・2222・2226・2229 2519・2522・2526・2529 2919・2922・2926・2929	3 4

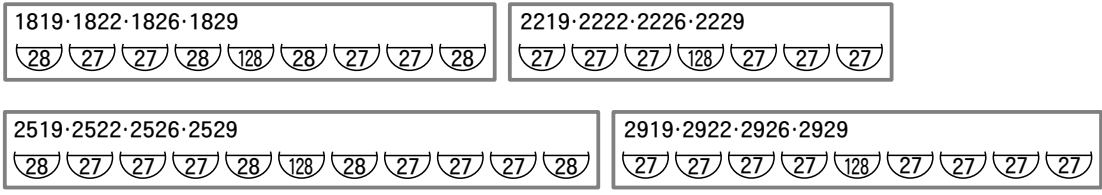
2 屋根・壁の組立



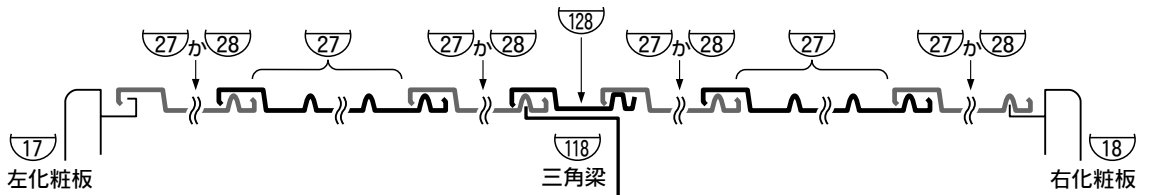
使用部品

②7 屋根パネル			
1819・1822・1826・1829	4		
2219・2222・2226・2229・2519・2522・2526・2529	6		
2919・2922・2926・2929	8		
②8 屋根パネル 小			
1819・1822・1826・1829・2519・2522・2526・2529	4		
②8 屋根パネル 連棟			
	1		
①6 母屋			
1819・1822・2219・2222・2519・2522・2919・2922	4		
1826・1829・2226・2229・2526・2529・2926・2929	6		
②0 壁パネル大			
1819	4	1826・2519	6
1822・2219・2526	8		
1829・2226・2522・2919	10		
2222・2529・2926	12		
2229・2922	14	2929	16
②1 壁パネル小			
1822・1829・2219・2226・2522・2529・2919・2926	4		
1819・1826・2519・2526	8		
②5 前化粧板			
2			
③26 軒樋			
2			
⑤1 たて樋			
1819・1822・2219・2222	2		
1826・1829・2226・2229・2519・2522・2526・2529・2919・2922・2926・2929	4		

■屋根パネル並べ順



■屋根パネルの重ね合わせ方 (前から見た断面図)



ネジ・小部品	パッキン付ネジ		短いネジ		雪止 (個数は袋単位です)				
	全機種共通	2	1819・1822・1826・1829 2219・2222・2226・2229	24	2519・2522・2526・2529 2919・2922・2926・2929	32	1819・1822・1826・1829 2219・2222・2226・2229	6	2519・2522・2526・2529 2919・2922・2926・2929

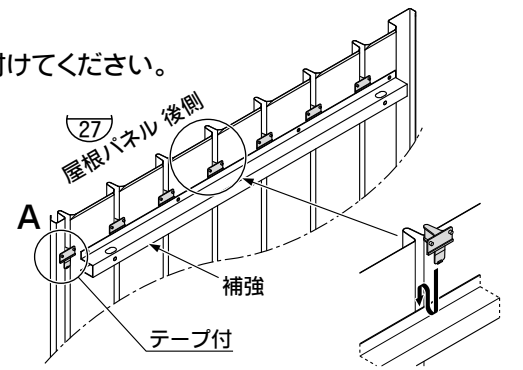
②-1: 屋根パネルの組立 ● 屋根パネルは、前から見て左から順に並べてください。(図は 2226型 2連棟)

屋根パネルの組立前に

● 屋根パネル (27) の後側に雪止 (ホコリ止め) を取り付けてください。

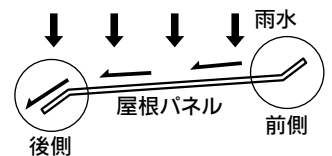
- 屋根パネル (27) 1枚につき、1袋使用します。(機種によっては予備が含まれます。)
- 屋根パネル 小 (28) には取り付けません。
- テープ付 (1袋に1個) は、補強のない部分 (右図のA部) に使用します。

Ⓢただし、下記機種の各棟の右端 (下図のB部) には、雪止 (テープ付) を取り付けないでください。
(WSB・WS 共通) - 2219・2222・2226・2229・2919・2922・2926・2929

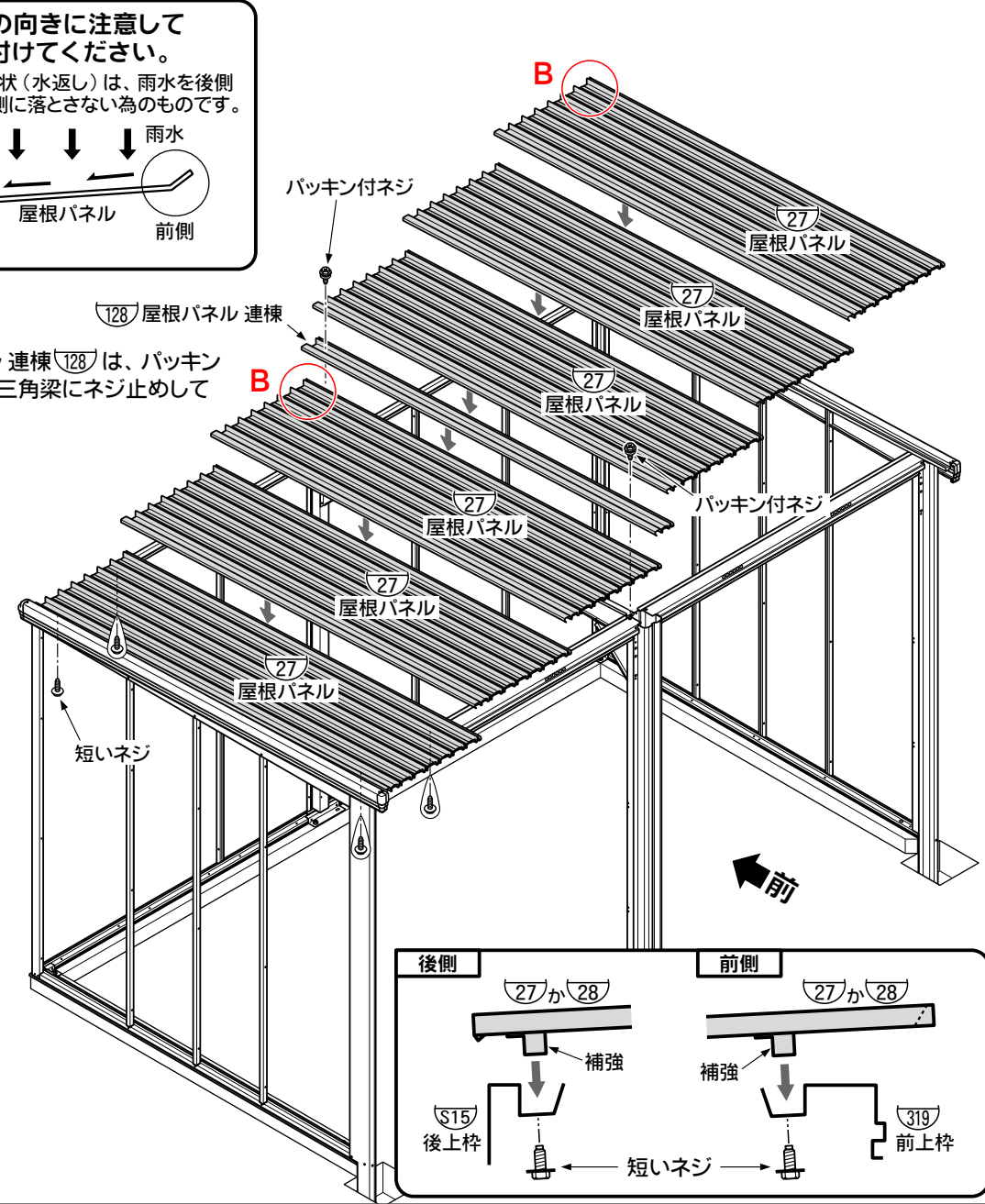


屋根の向きに注意して取り付けてください。

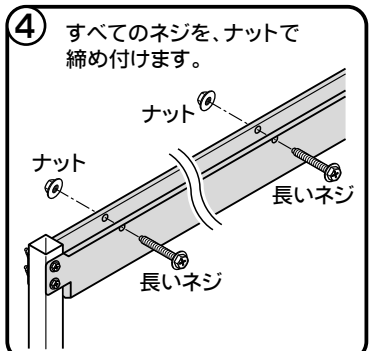
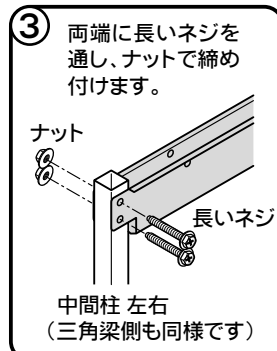
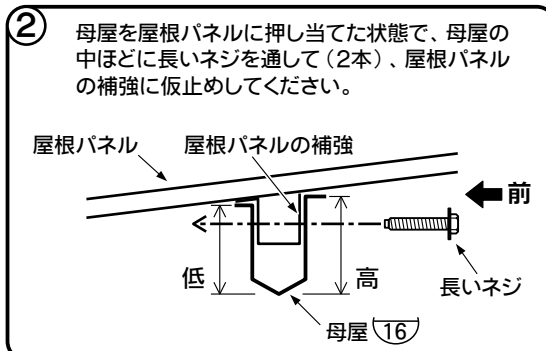
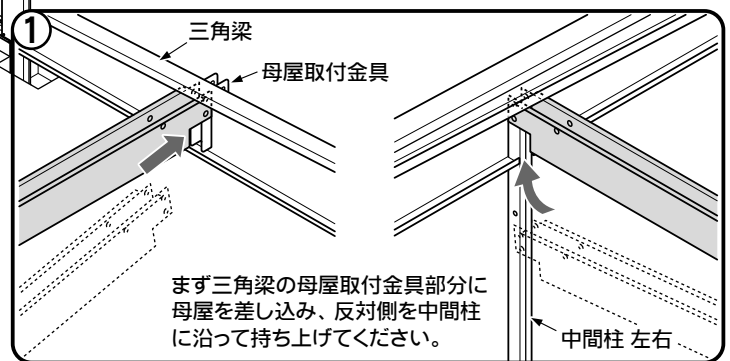
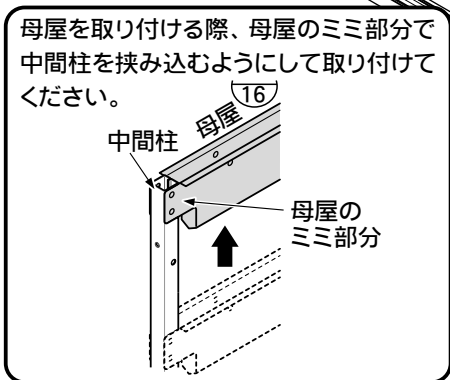
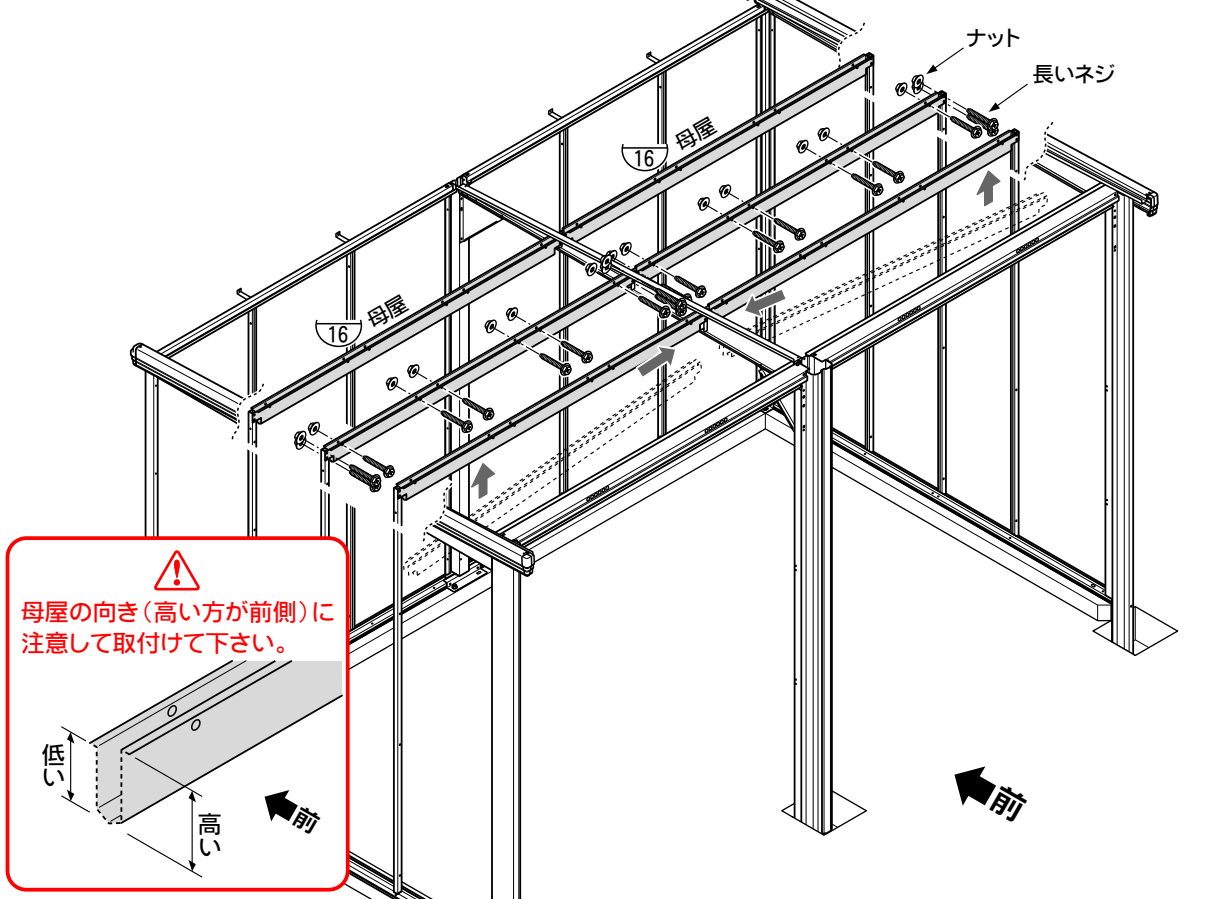
この屋根形状 (水返し) は、雨水を後側へ送り、前側に落とさない為のものです。



屋根パネル 連棟 (128) は、パッキン付ネジで、三角梁にネジ止めしてください。

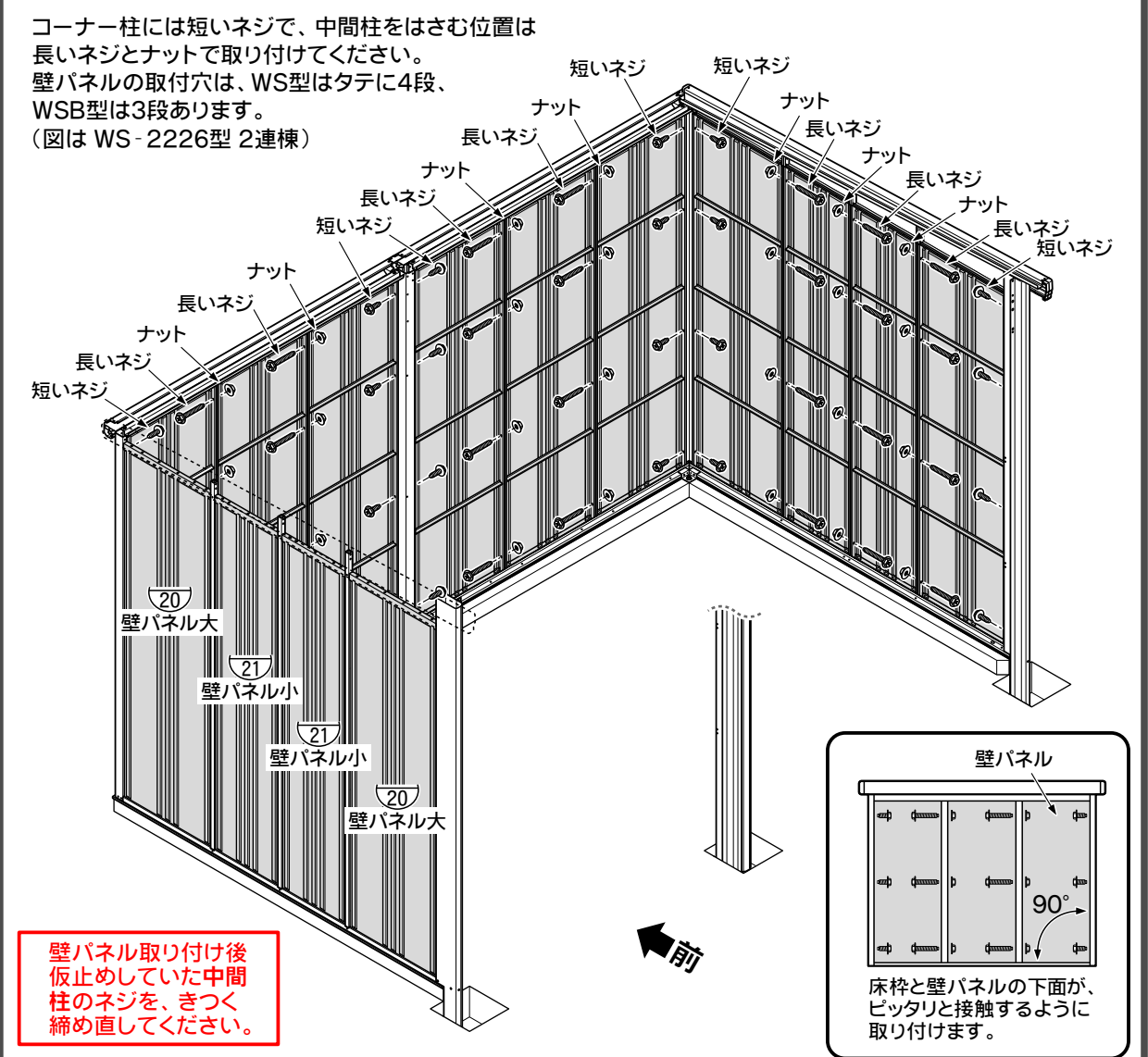


②-2：母屋の組立

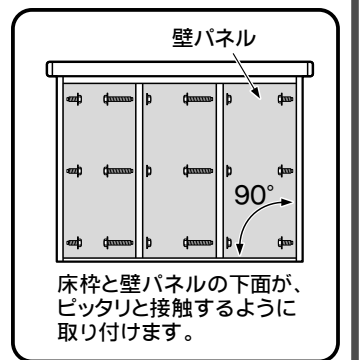


ネジ	長いネジ・ナット	1819・1822・2219・2222	各40
	2519・2522・2919・2922	各48	1826・1829・2226・2229
		各60	2526・2529・2926・2929
			各72

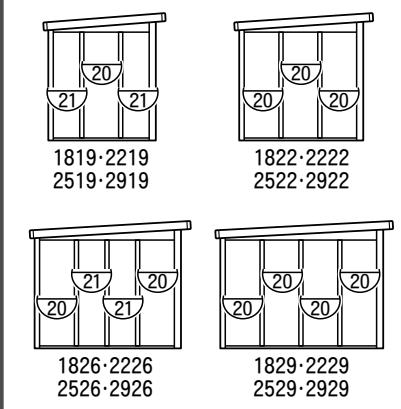
②-3：壁パネルの組立



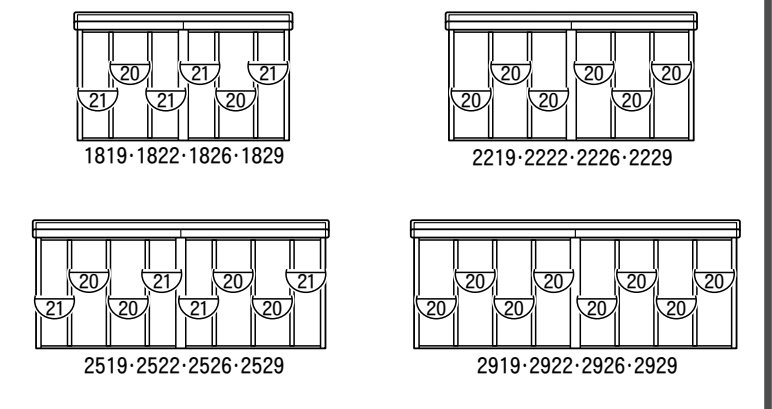
壁パネル取り付け後仮止めていた中間柱のネジを、きつく締め直して下さい。



■壁パネルの取付位置(側面)

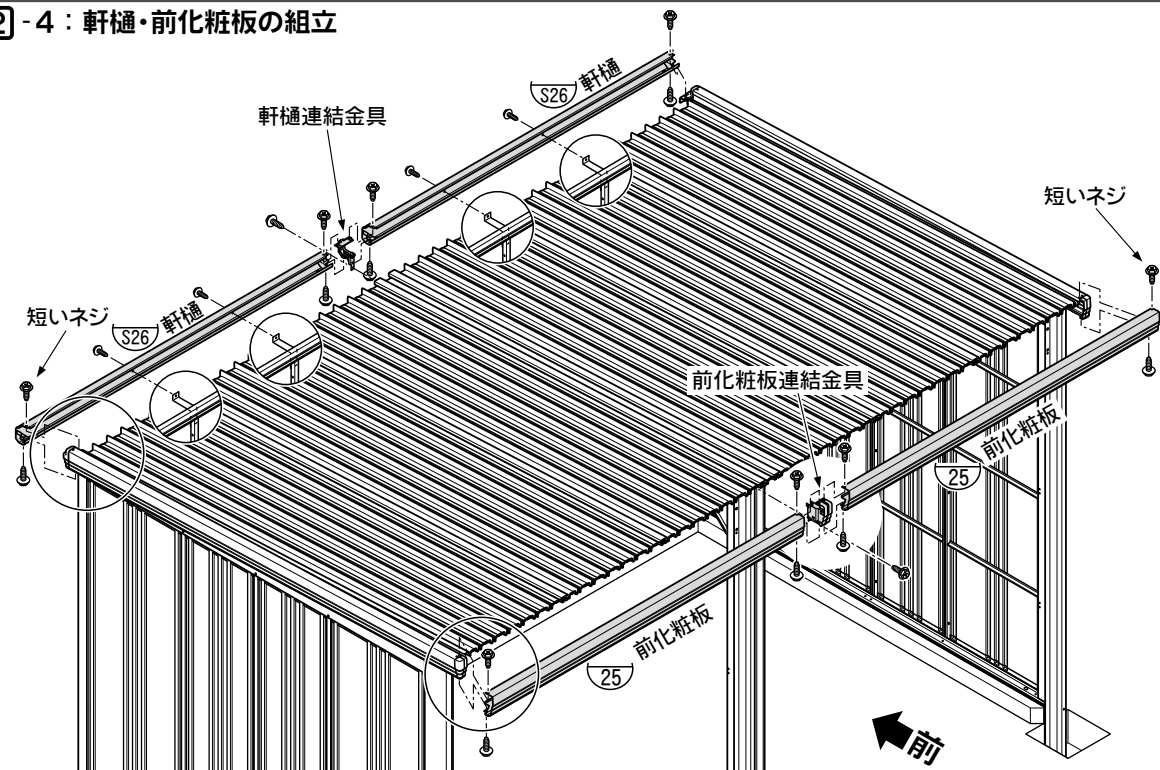


■壁パネルの取付位置(背面)

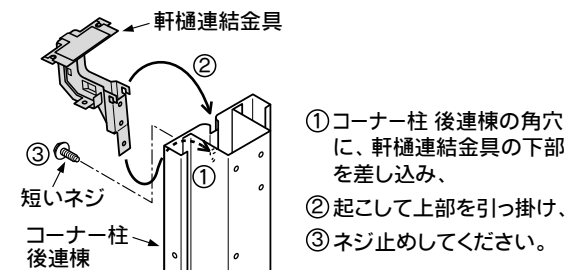


ネジ	短いネジ	長いネジ・ナット	WSB型	WS型	各30	WS-2526・2529・2926・2929	各48	WS-1819・1822・2219・2222	各32
	WSB型	WSB-2226・2229	WS型	WS-1826・1829・2226・2229・2519・2522・2919・2922	各36				各40

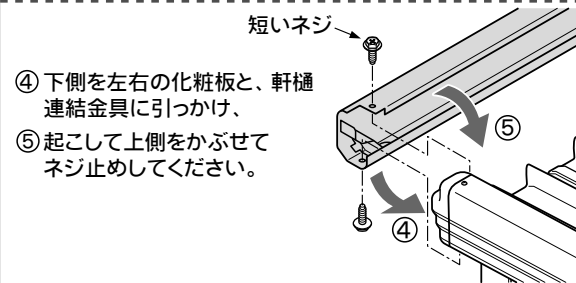
②-4：軒樋・前化粧板の組立



●軒樋の組立

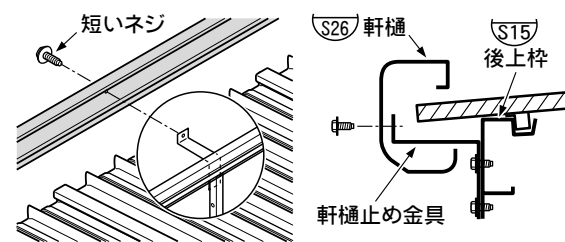


- ①コーナー柱 後連棟の角穴に、軒樋連結金具の下部を差し込み、
- ②起こして上部を引っ掛け、
- ③ネジ止めしてください。

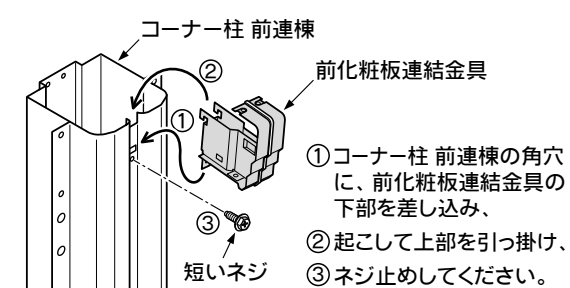


- ④下側を左右の化粧板と、軒樋連結金具に引っ掛け、
- ⑤起こして上側をかぶせてネジ止めしてください。

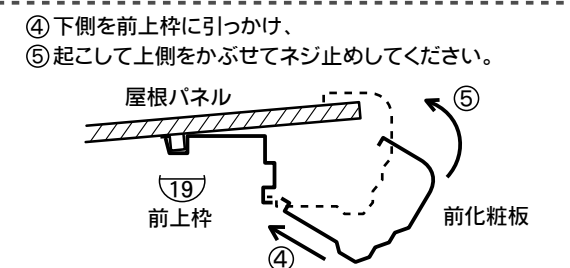
軒樋止め金具にネジ止めしてください。



●前化粧板の組立



- ①コーナー柱 前連棟の角穴に、前化粧板連結金具の下部を差し込み、
- ②起こして上部を引っ掛け、
- ③ネジ止めしてください。

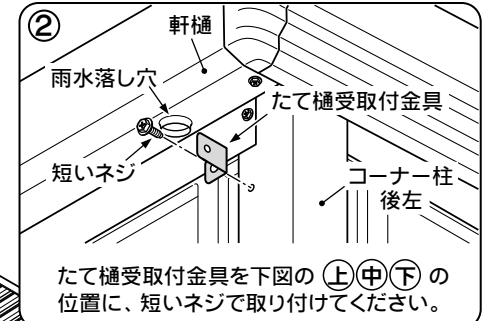
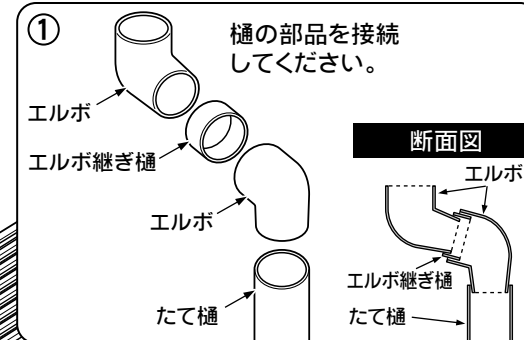


- ④下側を前上枠に引っ掛け、
- ⑤起こして上側をかぶせてネジ止めしてください。

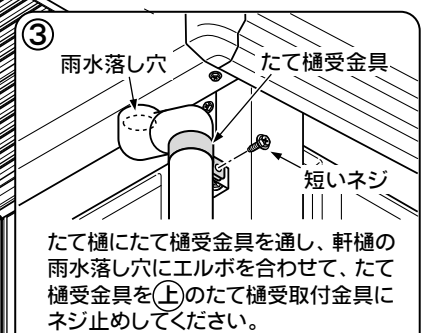
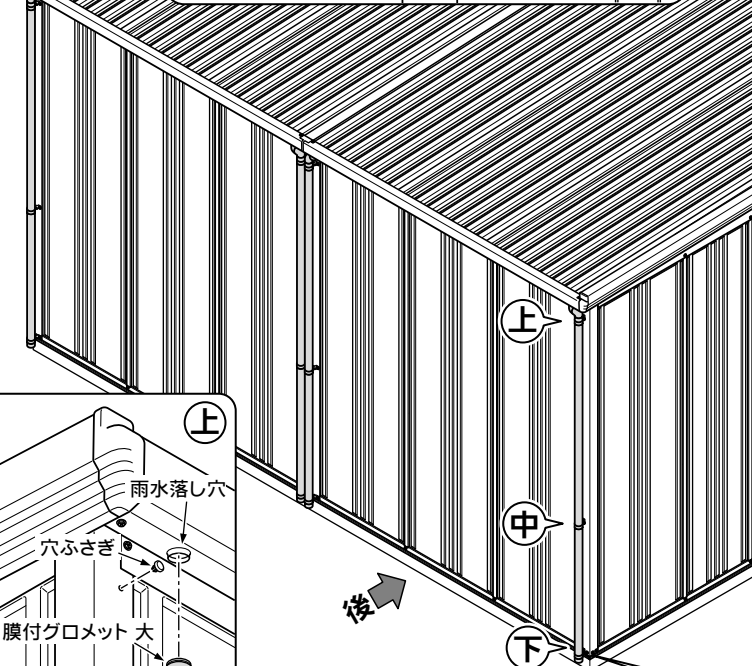
ネジ・小部品	短いネジ	1819・1822・1826・1829・2219 2222・2226・2229	22	2519・2522・2526・2529 2919・2922・2926・2929	24	前化粧板連結金具 軒樋連結金具	1 1
--------	------	--	----	--	----	--------------------	--------

②-5：たて樋の組立

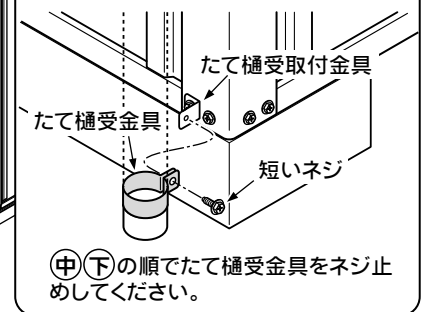
※WS-1819・1822・2219・2222型は、1棟に対してたて樋を1本、その他の機種は、2本使用します。



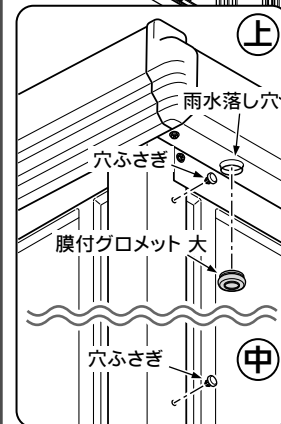
たて樋受取付金具を下図の(上)(中)(下)の位置に、短いネジで取り付けてください。



たて樋にたて樋受取付金具を通し、軒樋の雨水落し穴にエルボを合わせて、たて樋受取付金具を(上)のたて樋受取付金具にネジ止めしてください。



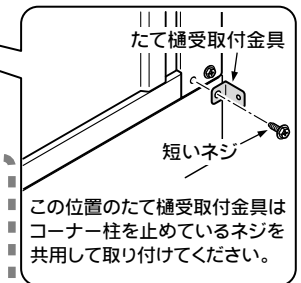
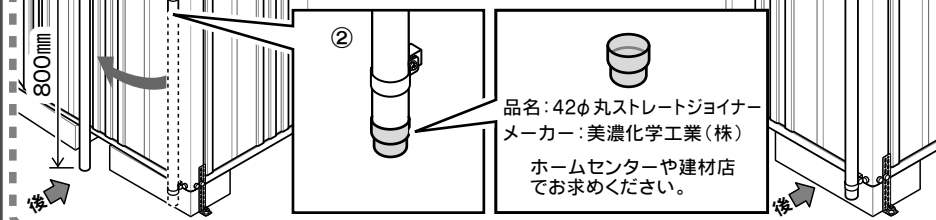
(中)(下)の順でたて樋受取付金具をネジ止めしてください。



WS-1819・1822・2219・2222型は、たて樋を取り付けない側の雨水落し穴を膜付グロメット大でふさぎ、コーナー柱のネジ穴(上)(中)の位置に、穴ふさぎを差し込んでください。

【たて樋凍結による破損対策】

- ①たて樋を800mmカットする。
- ②市販のジョイント部品を差し込む。
- ③冬期以外は、カットした部分を差し込んでご使用ください。

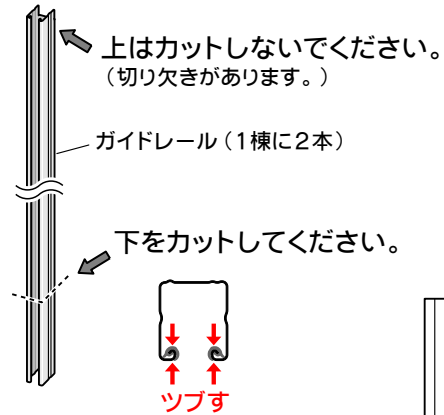
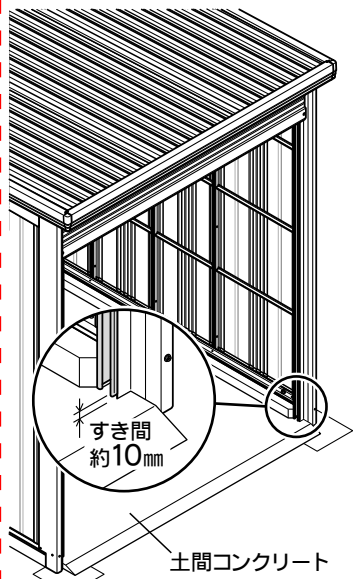


この位置のたて樋受取付金具はコーナー柱を止めているネジを共用して取り付けてください。

機種 (WS・WSB共通)	短いネジ	エルボ	エルボ継ぎ樋	たて樋受取付金具	たて樋受取付金具	膜付グロメット大	穴ふさぎ
1819・1822・2219・2222	10	4	2	6	6	2	4
1826・1829・2226・2229・2519・2522 2526・2529・2919・2922・2926・2929	20	8	4	12	12		

■ガイドレールのカット

ガイドレールを基礎・土間コンクリートに埋め込むと、後々のメンテナンスや修理に不都合が生じる場合があります。取付前に、ガイドレールをカットしてください。



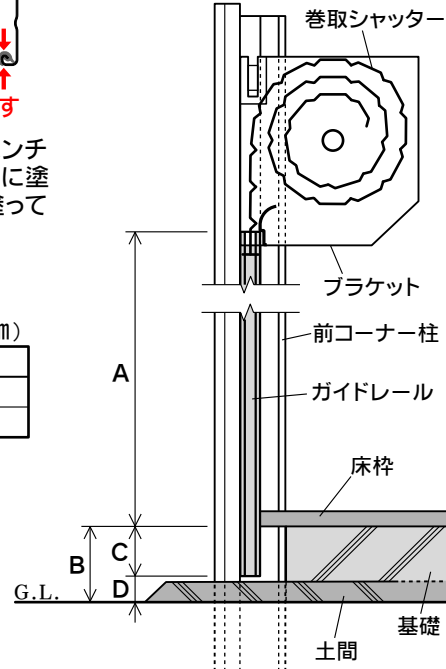
カットした下端をペンチなどでツブし、断面に塗料かコーキングを塗ってください。

■寸法計算方法

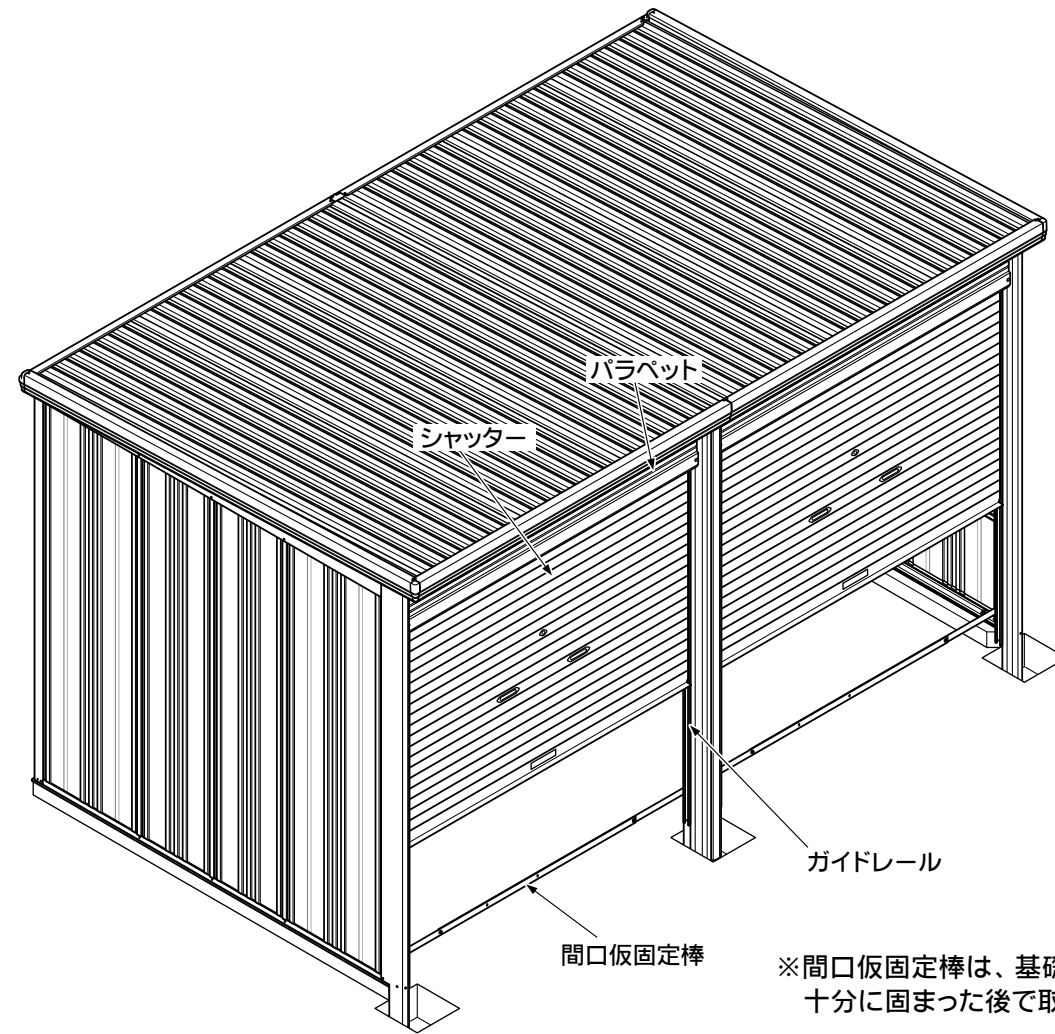
- A (ガイドレール上端から基礎天までの長さ)
- B (基礎の高さ:現場で計測してください)
- C (計算値)
- D (土間の高さ+10mm)

ガイドレールの全長		A
WS型	2412	2162
WSB型	1952	1702

- 計算式 $B - D = C$
 $A + C =$ カット後の寸法
- (例) ... WS型で基礎高さ150mm・土間高さ40mmの場合
 $150 - 50 = 100$ (mm)
 $2162 + 100 = 2262$ (mm)
ガイドレールの長さを **2262mm** にカットしてください。



③ シャッターの組立・仕上げ

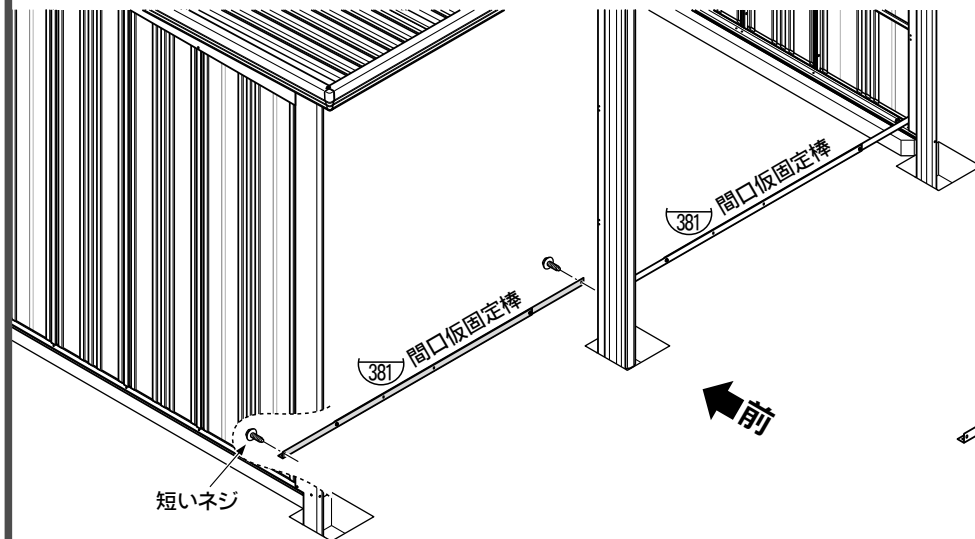


使用部品

387 間口仮固定棒	1819・1822・1826・1829	2
369 パラベット	2219・2222・2226・2229 2519・2522・2526・2529 2919・2922・2926・2929	4
380 シャッター		2
356 ガイドレール		4

※間口仮固定棒は、基礎・土間のコンクリートが十分に固まった後で取りはずします。

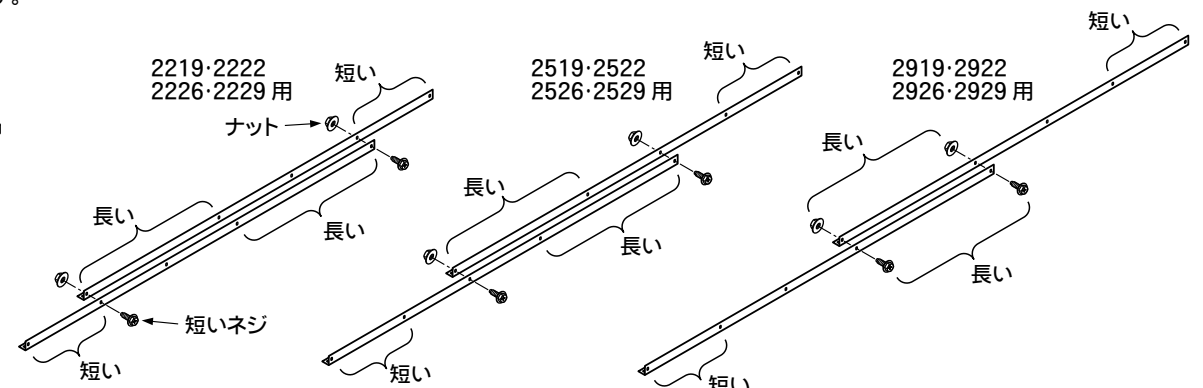
③-1: 間口仮固定棒の取付



- シャッターのたてつけが狂うのをふせぐため、コーナー柱前を、間口仮固定棒で連結してください。
- アンカーボルトのナットを、いったんゆるめて間口仮固定棒を取り付け、その後ナットを締め付けてください。

■下記の機種は、間口仮固定棒1本を、そのまま取り付けます。

■下記の機種は、間口仮固定棒2本を、図の要領で組み立ててから取り付けます。

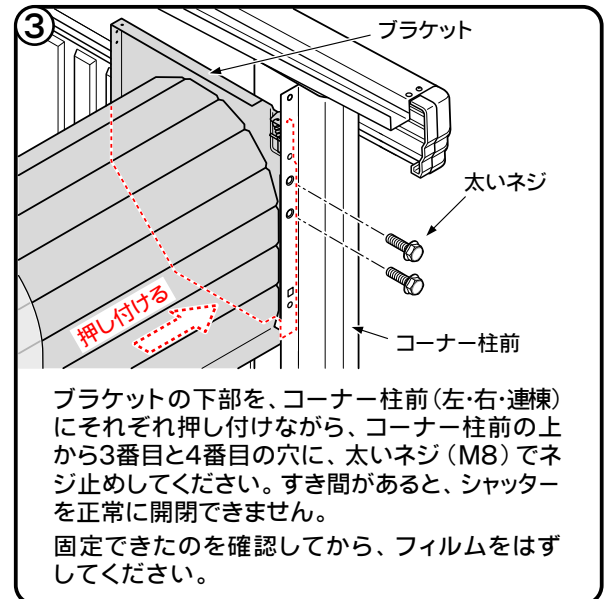
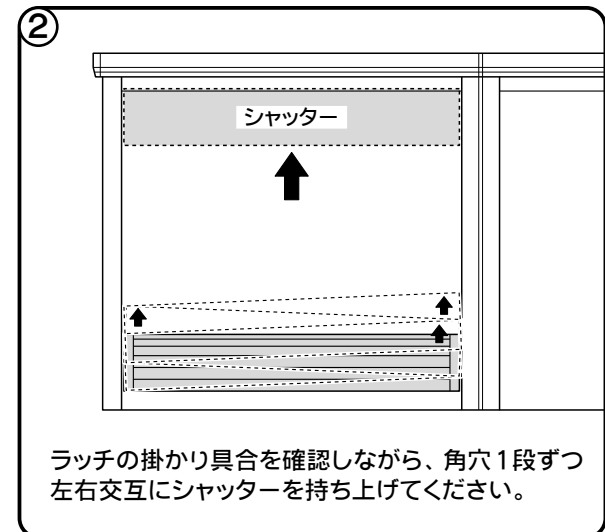
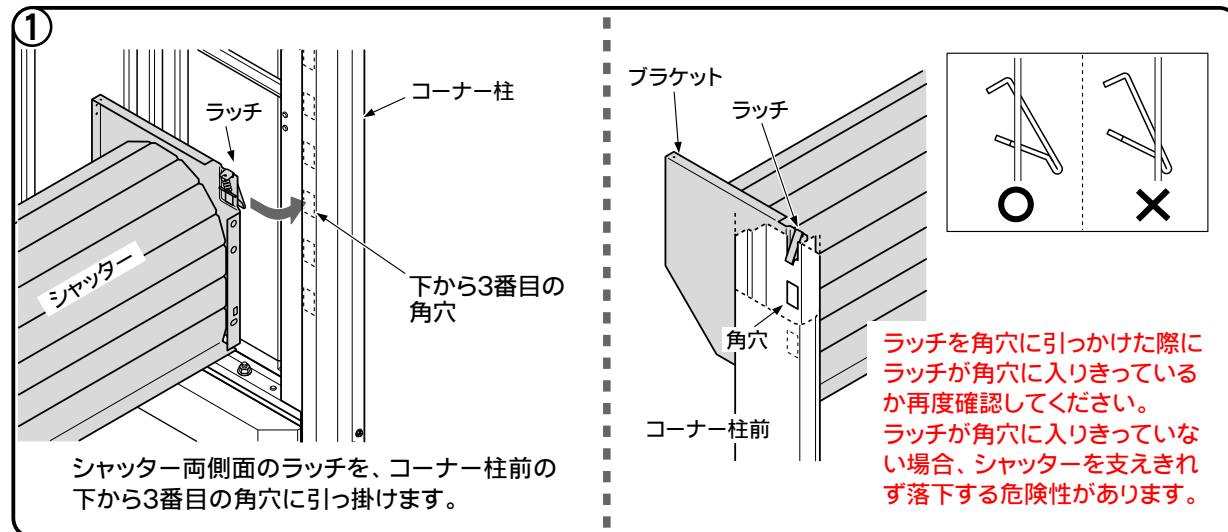
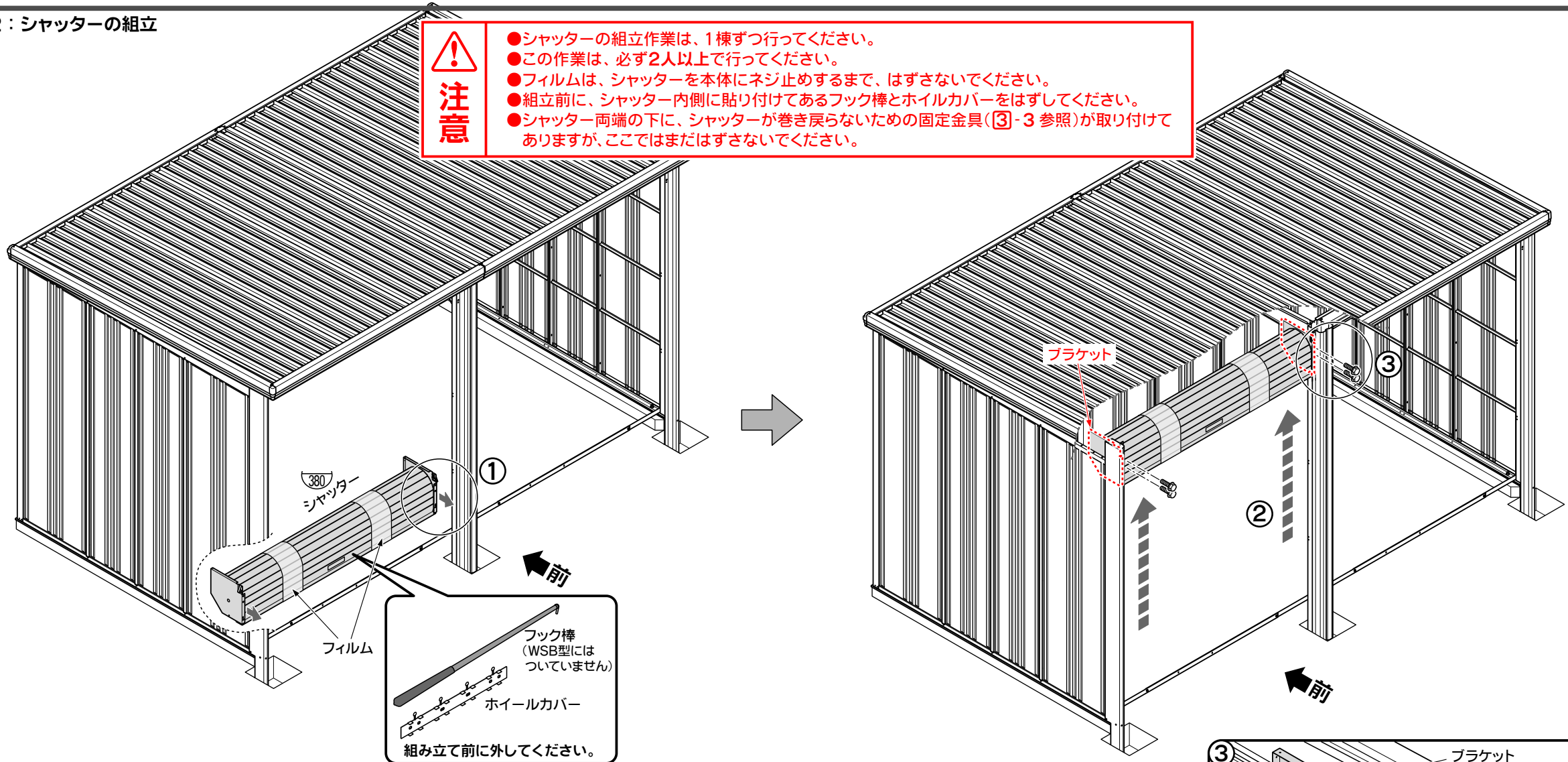


ネジ	短いネジ		ナット	ナット	
	1819・1822・1826・1829	4		2219・2222・2226・2229・2519・2522 2526・2529・2919・2922・2926・2929	8
					4

③-2: シャッターの組立



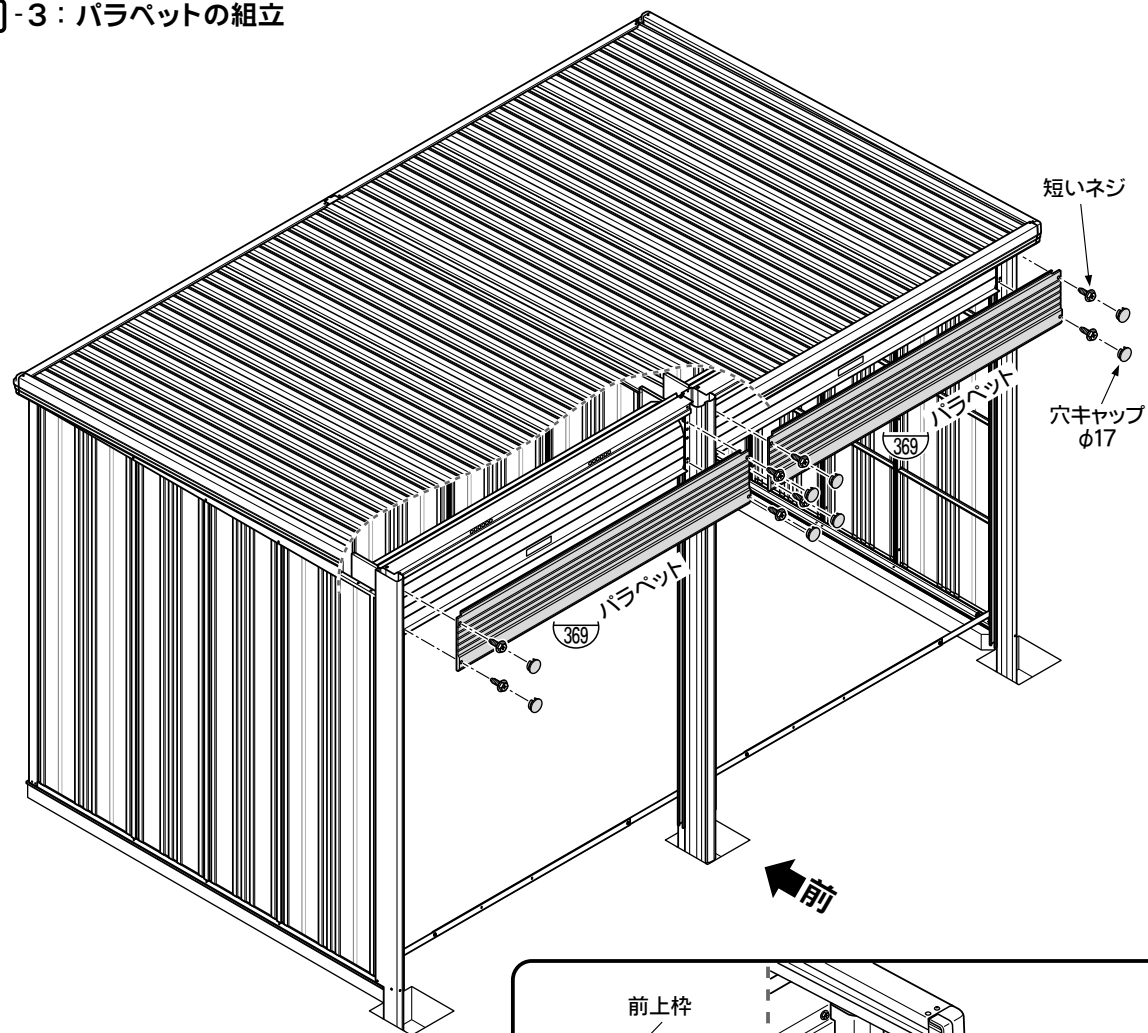
- シャッターの組立作業は、1棟ずつ行ってください。
- この作業は、必ず2人以上で行ってください。
- フィルムは、シャッターを本体にネジ止めするまで、はずさないでください。
- 組立前に、シャッター内側に貼り付けてあるフック棒とホイールカバーをはずしてください。
- シャッター両端の下に、シャッターが巻き戻らないための固定金具(③-3参照)が取り付けられていますが、ここではまだはずさないでください。



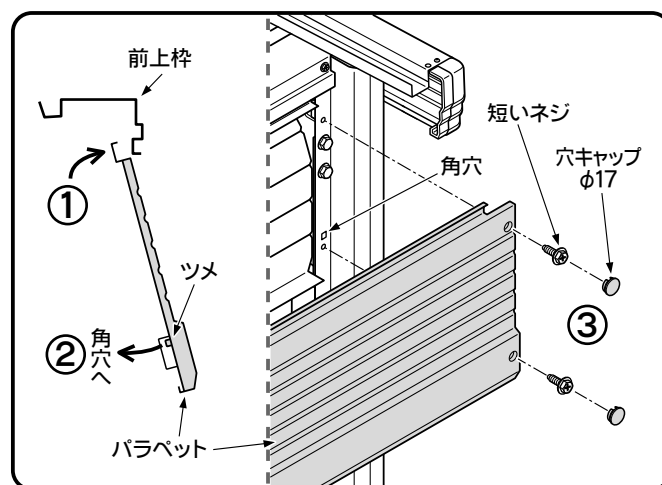
ネジ 太いネジ (M8) ... 8

●必ず③のネジ止めを終えてから、次の棟の組立を行ってください。

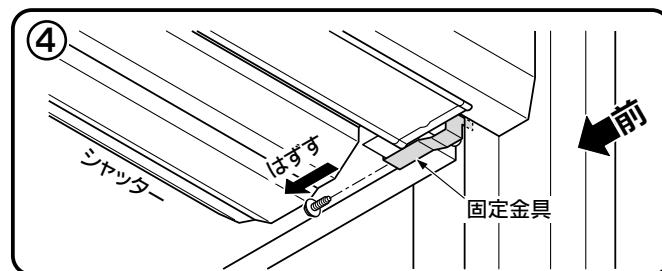
③-3：パラペットの組立



- ①パラペットの上部を、前上枠に引っ掛けます。
- ②パラペットのツメを、コーナー柱前の角穴に差し込みます。
- ③パラペットの両端を短いネジで固定し、穴キャップでふさいでください。



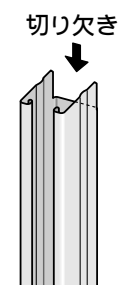
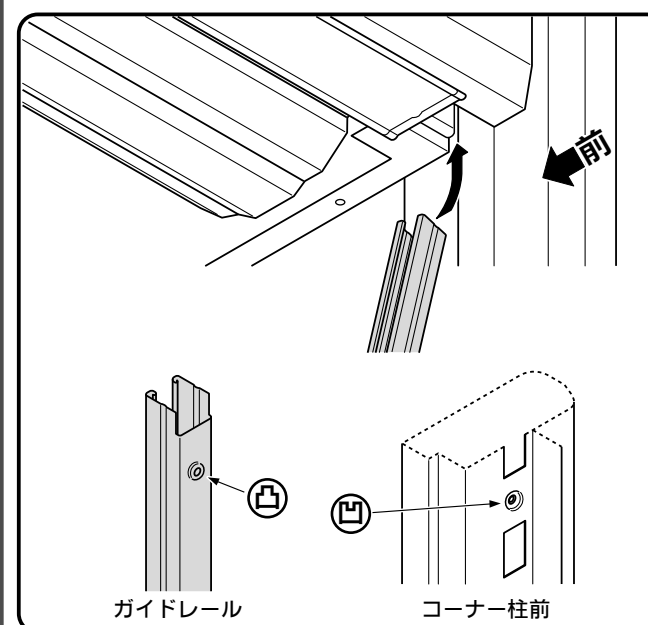
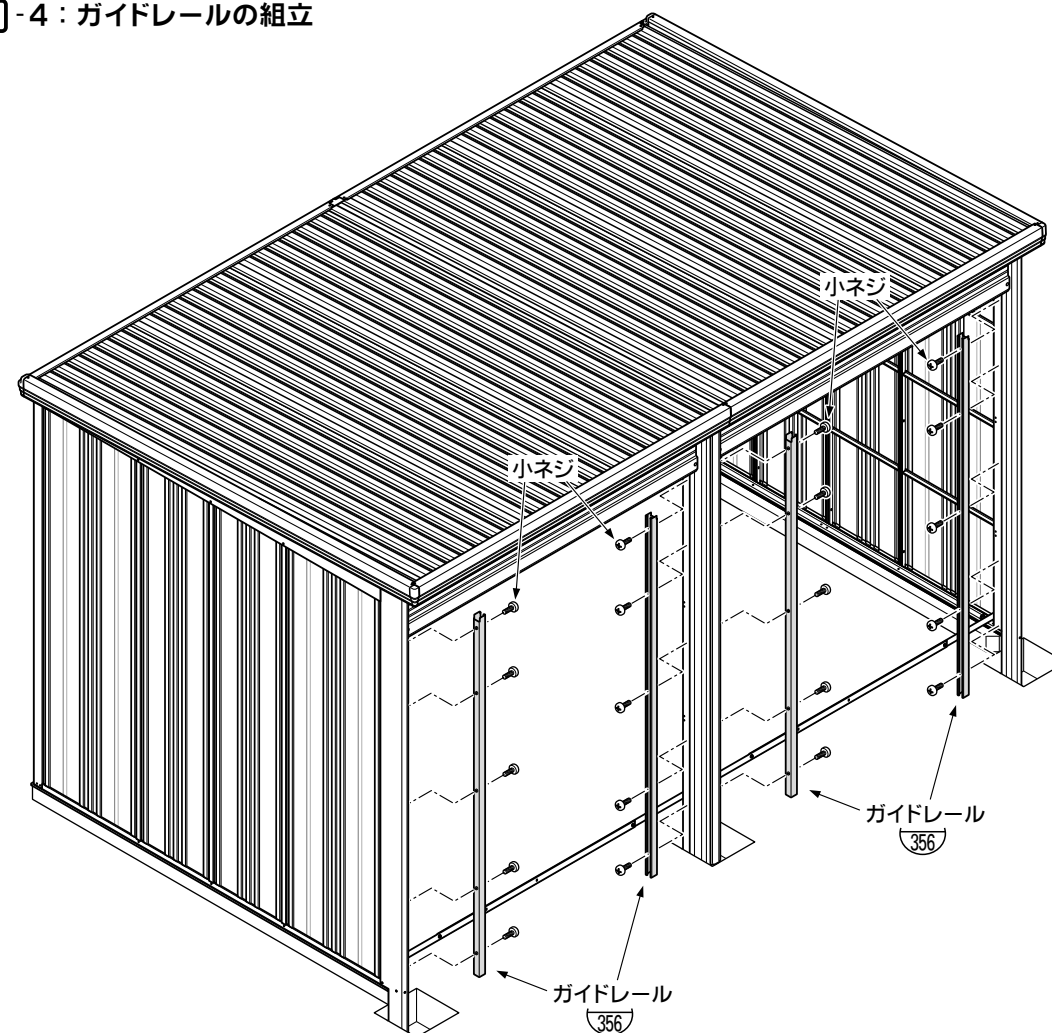
- ④ネジをはずして、シャッターの固定金具を取り除いてください。



注 シャッターマンを解体・移設する時は、必ずシャッターを固定金具で固定してください。そのため、固定金具を保管するよう心がけてください。

ネジ・小部品 短いネジ…8 穴キャップφ17…8

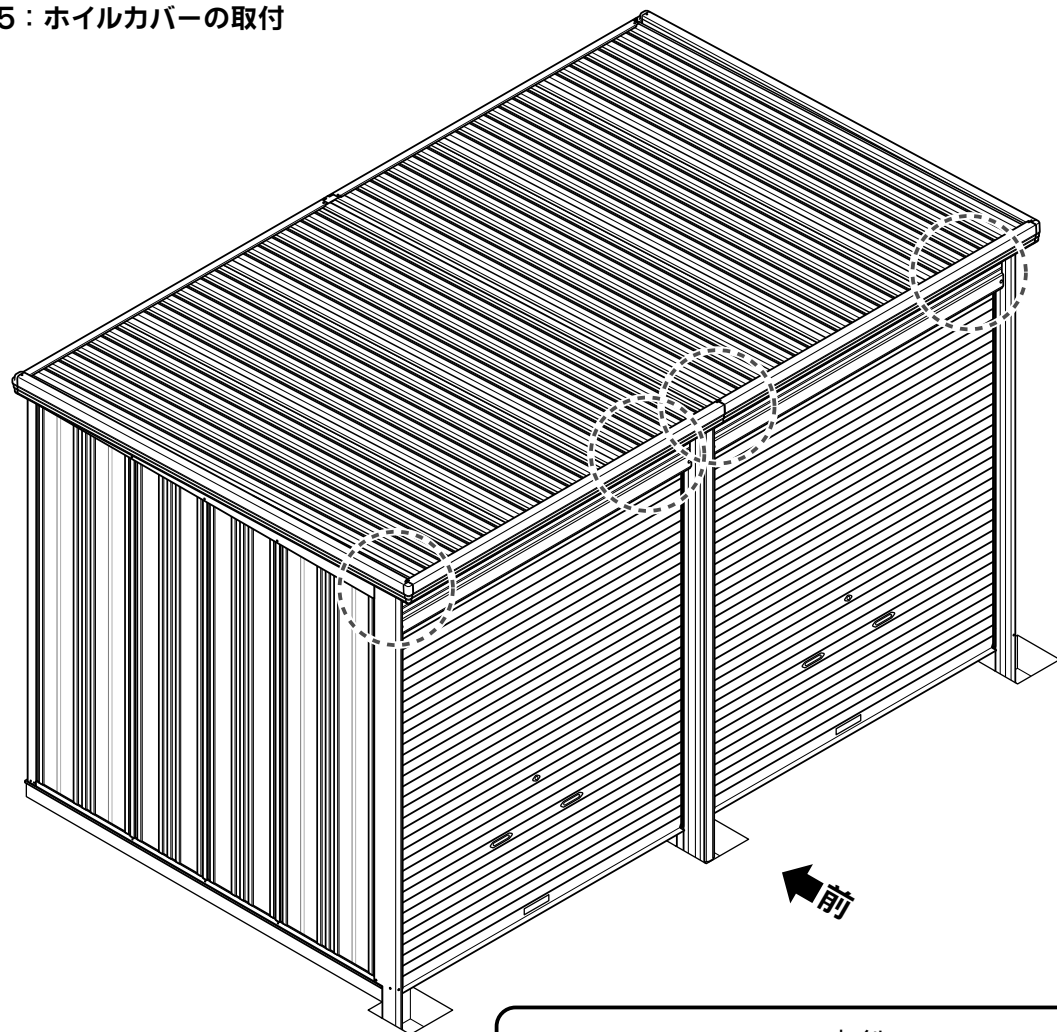
③-4：ガイドレールの組立



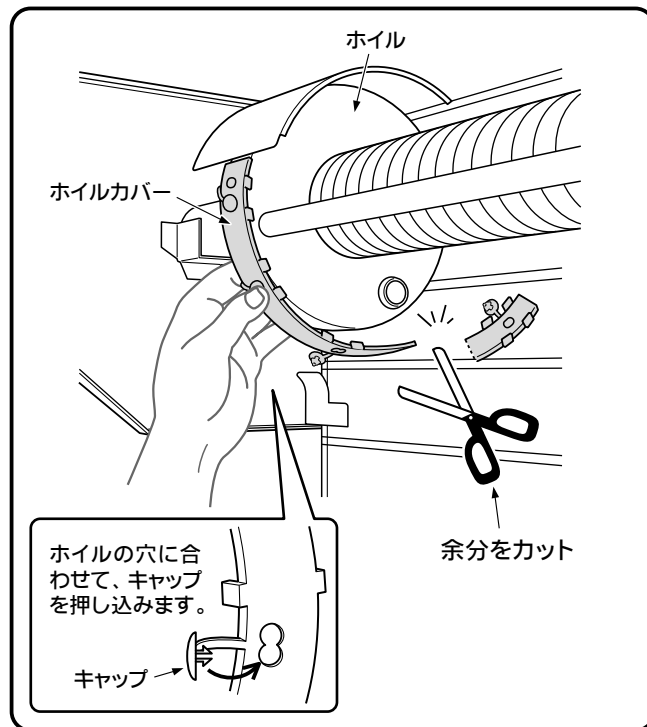
ガイドレールは、切り欠きがある方が上になります。上をシャッターに差し込み、コーナー柱前の穴と凹凸を合わせて、小ネジ(M5)でネジ止めしてください。

ネジ	小ネジ(M5)	
	WSB型	WS型
	16	20

③-5: ホイルカバーの取付



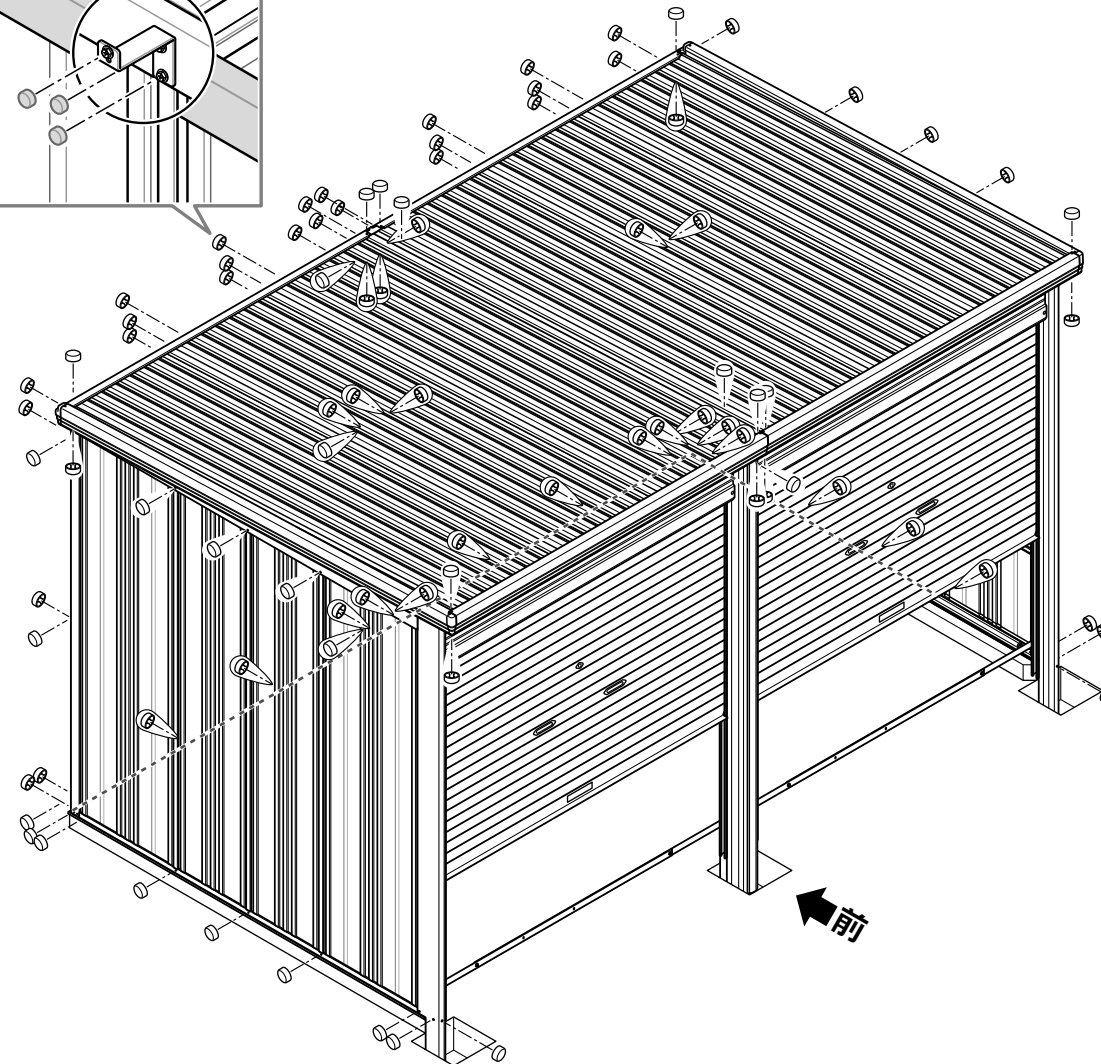
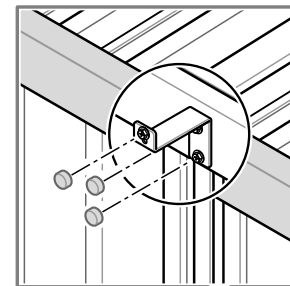
- ホイルカバーは、シャッターを一番下までおろした状態を取り付けます。
- ホイルとシャッターパネルの隙間が少なく、取り付けできない部分は切断します。
- ホイルカバーは、**すべて同じ長さ**に切りそろえて取り付けてください。
(左右のバランスが狂います)



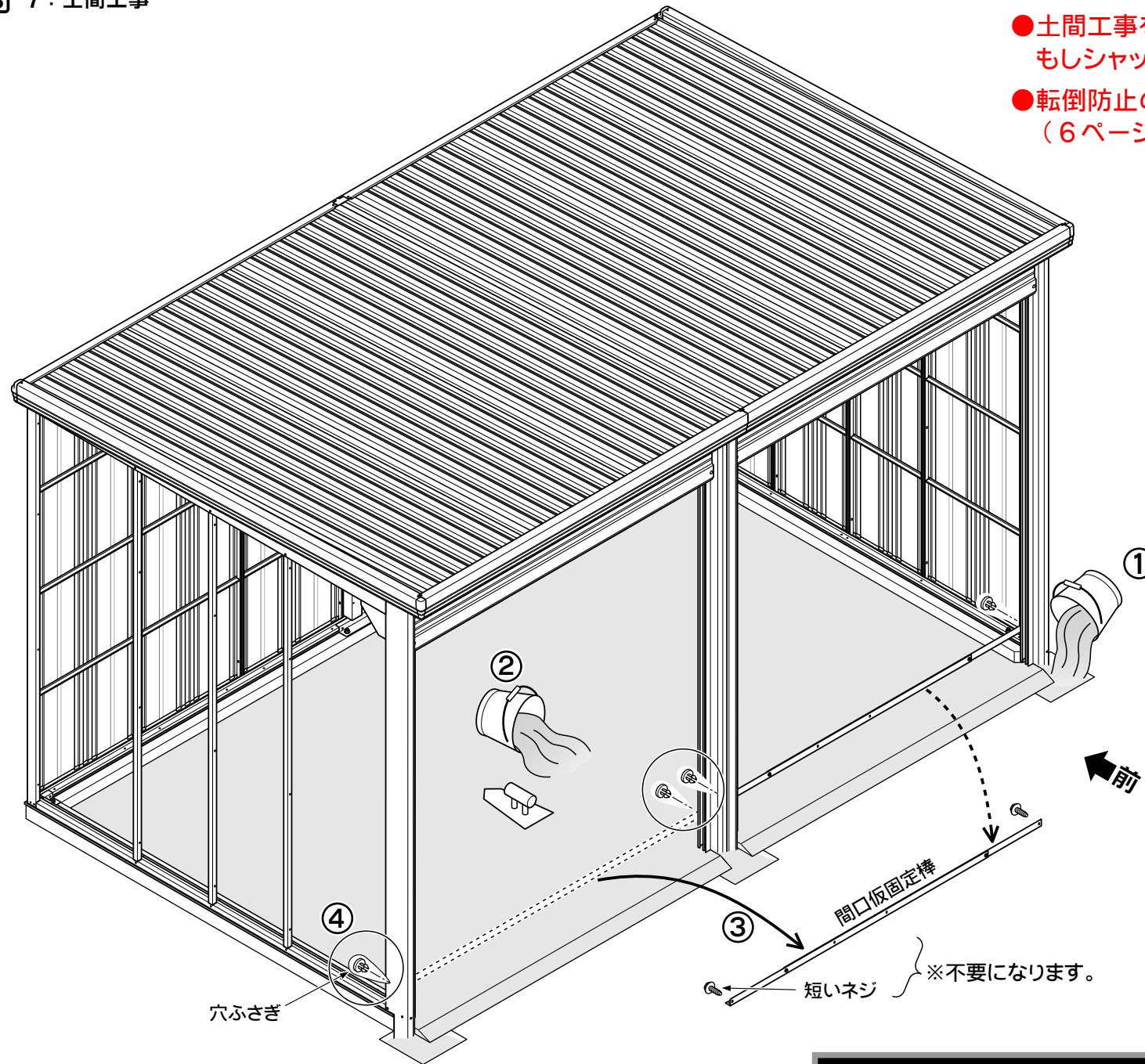
- 1819・1822・1826・1829・2219
2222・2226・2229・2519・2522
2526・2529 型は、両端の2カ所に取り付けます。
- 2919・2922・2926・2929 型は、両端と中央の3カ所に取り付けます。

③-6: ネジキャップの取付

- すべてのネジをきつく締め直し、屋外側のネジの頭にネジキャップを取り付けてください。



③-7: 土間工事



- 土間工事を行う前に、シャッターがスムーズに開閉できるか確認してください。もしシャッターのたてつけが悪いときは、コーナー柱前を微調整してください。
- 転倒防止のため、必ず基礎工事を行ってください。(6ページの基礎図を参照してください。)

以上で組立作業は終わりました。

ここは気をつけて!

- 鍵をつけたままシャッターを巻き上げると、鍵を巻き込む恐れがありますので、シャッターの巻き上げは、必ず鍵をはずしてから行ってください。
- シャッターの鍵は2本ありますが、本鍵と合鍵に分けて、紛失しないように保管してください。(鍵をかけたまま、なくされるお客さまが多くおられます。)もし、2本の内1本をなくされた場合は、お早めに購入された販売店までお問い合わせください。(合鍵を作製するには鍵に刻印してある番号が必要です。念のため、本書の裏表紙の記入欄に、必ず鍵番号を控えておいてください。なお、鍵は有償です。)

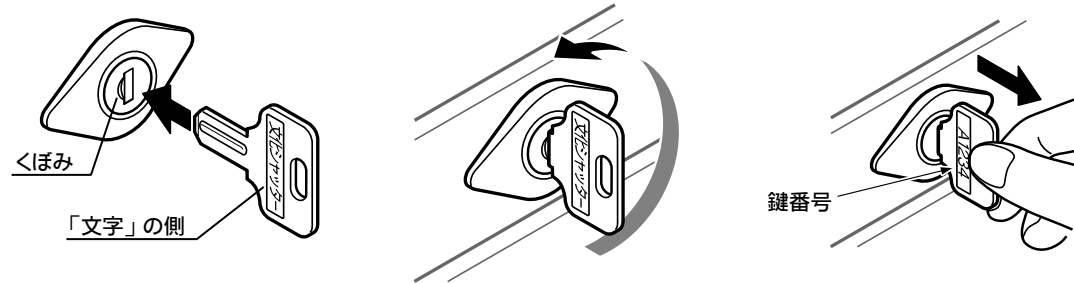
シャッターのご使用方法

⚠ 注意

- カギをかける前に、シャッターが下端まで完全に閉鎖していることを、必ず確認してください。
- ロックバーを持って開閉しないでください。バーが曲がってカギがかかりにくくなる恐れがあります。

開け方

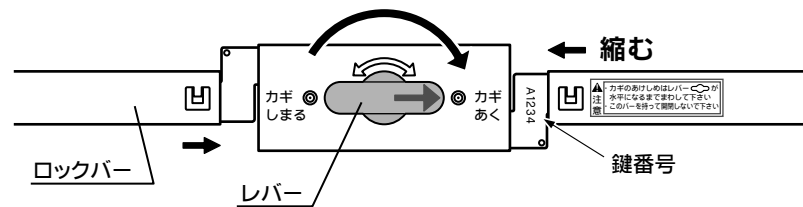
1 カギを開ける〈屋外から〉



カギ穴のくぼみと、「文化シャッター」の文字の側を合わせてカギを差し込み、反時計回りに半回転させます。

必ず、カギを抜いてからシャッターを開けてください。

カギを開ける〈庫内から〉

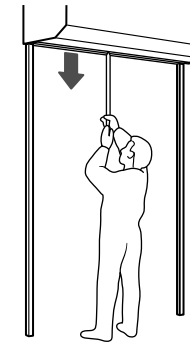


レバーを時計回りに半回転させ、矢印シールを「カギあく」の向きに合わせます。レバーは水平になるまで回してください。

閉め方

1

フック棒を水切りの穴に引っ掛け、胸の位置くらいまで静かに引き下げます。(WSB型は、フック棒を使用しません。)

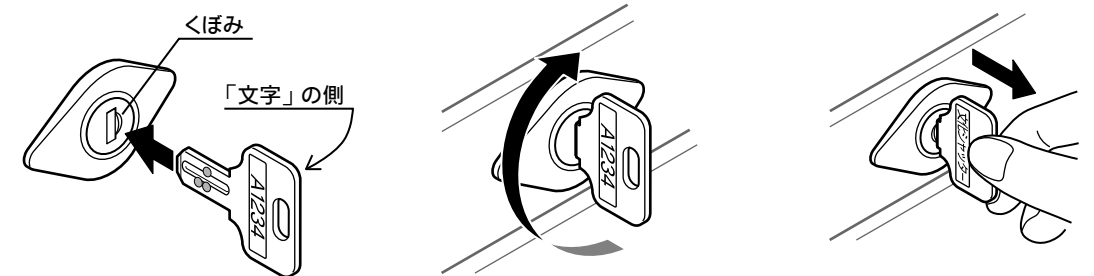


2

フック棒をはずし、手掛けを持って最下部まで静かに下げます。



3 カギをかける〈屋外から〉

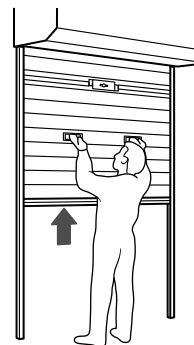


カギ穴のくぼみと、「文化シャッター」の文字の側を合わせてカギを差し込み、時計回りに半回転させます。

施錠後は、必ずカギを抜いてください。

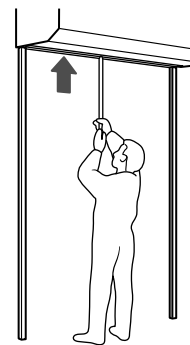
2

手掛けを持って、水切りが胸の位置にくるくらいまで静かに引き上げます。

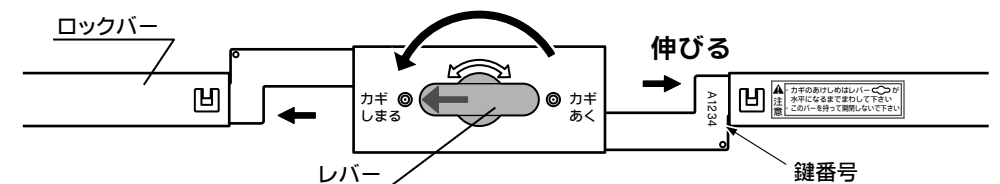


3

フック棒を水切りの穴に掛け、静かに押し上げます。(WSB型は、フック棒を使用しません。)



カギをかける〈庫内から〉



レバーを反時計回りに半回転させ、矢印シールを「カギしまる」の向きに合わせます。レバーは水平になるまで回してください。

製品名	タクボ Mr.シャツマン WSB- WS-
お買上げ日	年 月 日
お客様	ご住所 〒
	お名前 電話番号 () -
販売店 又は 工事店	店 名
	電話番号 () -
カギ番号	
備考	

上記の表にご記入の上、本書を紛失されないよう大切に保管してください。

タクボ製品についてのお問い合わせ

一貫して生産されるタクボ製品は、品質管理には細心の注意を払っています。万一、不都合な点や製品に関するお問い合わせがございましたら、下記の弊社営業所（AM9:00～PM5:00）まで、お気軽にご連絡ください。

西条事務所/工場 〒799-1392	愛媛県西条市北条962-7	0898(65)5000(代)
仙台営業所 〒983-0035	宮城県仙台市宮城野区日の出町3丁目8-12	022(783)3360(代)
東京営業所 〒132-0001	東京都江戸川区新堀1丁目6-5	03(3698)2205(代)
埼玉営業所 〒362-0066	埼玉県上尾市大字領家91-1	048(783)0771(代)
横浜営業所 〒226-0028	横浜市緑区いぶき野31-14	045(984)1891(代)
名古屋営業所 〒485-0081	愛知県小牧市横内字下割子287-21	0568(74)5506(代)
大阪営業所 〒561-0891	大阪府豊中市走井3丁目1-2	06(6844)3300(代)
広島営業所 〒731-0231	広島市安佐北区亀山4-11-54	082(814)6690(代)
高松営業所 〒761-8075	香川県高松市多肥下町1529-8	087(865)1349(代)
松山営業所 〒790-0062	愛媛県松山市南江戸2丁目4-10	089(922)4300(代)
福岡営業所 〒812-0888	福岡市博多区板付7丁目11-15	092(591)5524(代)

(<https://www.e-ty.co.jp>)

TAKUBO 株式会社 **田窪工業所**

[2023.07]